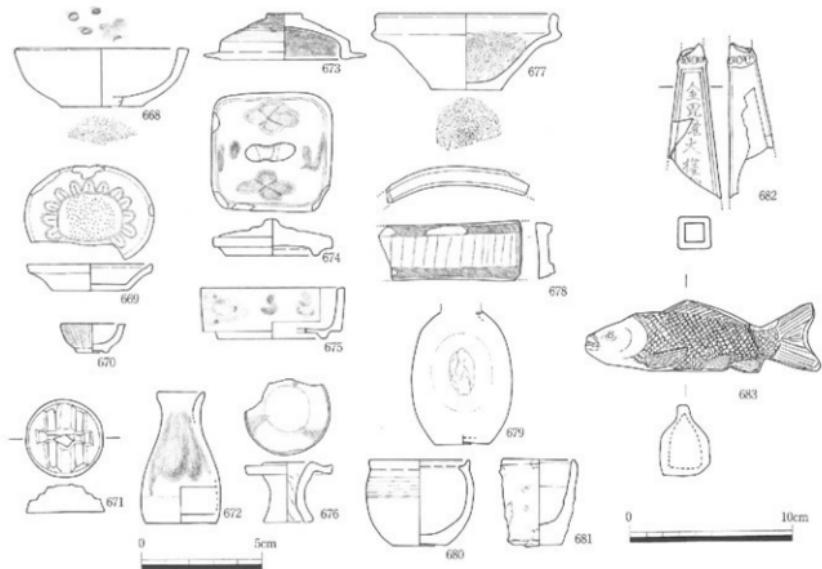
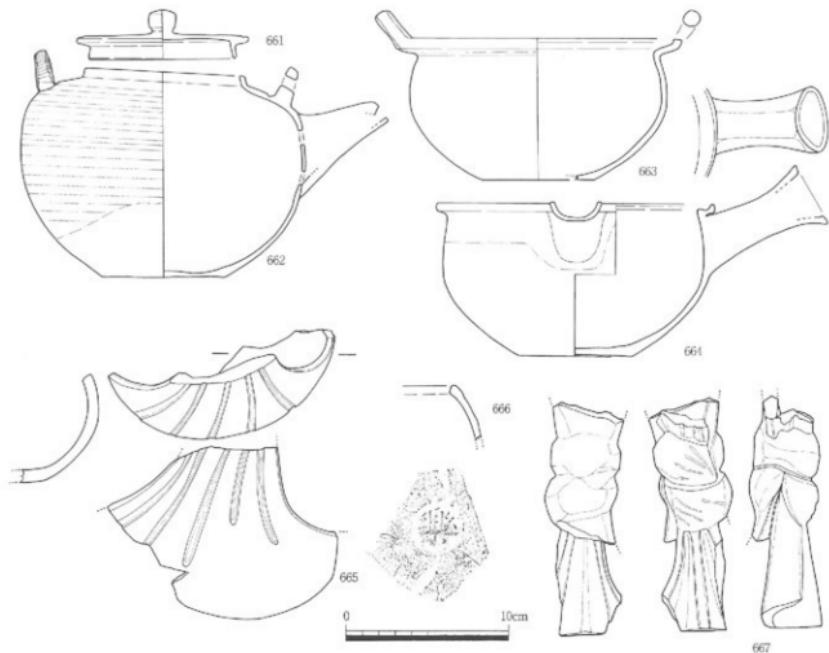


第68図 SX101出土遺物実測図(1/3, 653:1/4), 刻印拓本(1/2)



第69図 SX101出土遺物実測図⑩(1/2・1/3), 刻印拓本(1/2)

れる型成形の香炉類とみられ、釉下に[◎]の印をもつ。胎土は純黄褐色を呈し、釉は純黄色に発色する。

668～680は、玩具で飯事・箱庭セット。備前系のもの(679・680)を除いて、施釉・絵付けされたものが大半を占める。

681は、堆壠。内外面に緑錆及びガラス質の焼着が認められる。同形のものが、数個体出土している。682は備前系の焼き締め陶製で、柱状の形態を呈する。中空のもので、器面に「金毘羅大權現〔 〕」の刻書を施している。683は、型合わせの土鉢。同形のものが、数個体出土している。

684～705は、土師質・瓦質土器、皿等。小形の製品についてはほぼ皆無となっており、型成形とみられる鍋、鉢類を中心に中・大形の加熱具が中心に認められる。加えて、在地産の御殿系焰熔に粘土紐巻き上げ成形と外型成形が共存して認められることから、高松城編年(佐藤2003)では様相8・9(19世紀後半)に相当するものと考えられる。

684は、蓋。胎土は精良で橙色を呈しており、上部に円及び方形の通风孔が認められる。内面には、煤の付着が認められる。685は浅い鉢形に中空の把手が付くもので、フライイング状の形態を呈する。胎土には、684と同様のものが用いられている。686・687は、焜燒。何れもさながら一体化し、二重の構造をもつ。口縁には3箇所の山形と加熱具を挿げる突起を有し、3足の脚付きである。688は、さなの下端から鉤鐘状の燃焼部が付く。外面には型押しによるとみられる牡丹唐草の陽刻文、内面にはハケ調整が施される。底部の中央には[◎]の傷跡が認められる。687は焚き口の下部が方形に張り出し、さなには脚が認められる。外面には、鍋状のヘラ彫り文が施される。688は、庵、円筒形容を呈し、口縁から窓が切り込まれて下端に張り出しがある。器面には炭素を吸着させ、外面に磨きを施す。内面・底部にはハケ調整が認められる。側面には穿孔部が認められる。689は、角形の大鉢。四方隅に脚が付き、底部の中央には焼成後の穿孔が認められる。器面には炭素が吸着しており、外面に磨き、見込みにハケ調整を施す。口縁間に[◎]の刻印をもち、胎土に角閃石が認められる。690は、土師質焼成の大火消壺。691・692は、瓦質焼成で型成形とみられる茶釜・羽釜。ともに鋸部の下端で接合痕が見られる他の、明瞭な調整痕が認められない。693・694は在地産の御殿系焰熔で、粘土紐巻き上げ成形(693)のものと外型成形(694)が認められる。ともに焼成は瓦質となっている。695は、五徳。胎土は精良で灰白色を呈し、脚の付け根に「清和堂」と判読される小判印が認められ、京都産と推定される。696は、大型の(横木)鉢。隅丸の長方形を呈し、底部に穿孔部をもつ。土師質焼成で、底部にハケの調整痕が認められる。697は大・小の法量差をもつ二口の壺で、外・内壁の2重構造をもつ。土師質の焼成で、外壁を磨き、内壁にはハケ調整が認められる。同形品で、器面に炭素を吸着させたものも出土している。698～701は鉢・竈類と推定される土師質土器片で、刻印をもつもの。698は外面に磨き調整を施すもので、角形の柄に「みや〔 〕惣〔 〕」の刻印が認められる。699は外面に赤色を呈する塗土と磨き調整を施すもので、「〔 〕山〔 〕藏」の刻印

が認められる。700は二口壺の上端隅部片と推定されるもので、外面に炭素吸着処理、磨き調整を施し、「舍」の刻印が認められる。701は二口壺の側壁隅部片と推定されるもので、外面に炭素吸着処理、磨き調整を施し、丸に「當」の刻印が認められる。702～704は二口壺の付属品と推定されるもので、本体、底部正面脇の柄穴に接続して用いたものと考えられる。焼成は土師質で、中空(702～704)のものと中実(705)のものがある他、器面に炭素吸着処理を施す(704)ものと上・側面部に赤土を塗る(705)のものが混められる。何れも、上面部には磨き調整を施す。

706～724は、瓦。瓦については軒文様を有する等、特徴的なもののみコンテナ5箱程度を取り上げた。軒丸、軒平、棟瓦があり、高松城編年(佐藤2003)では様相8・9に該当するものを中心に様相5(18世紀第2四半期)まで遡るものと想定される。

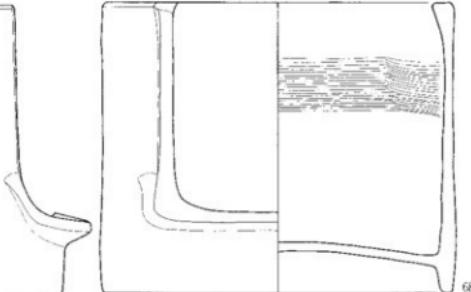
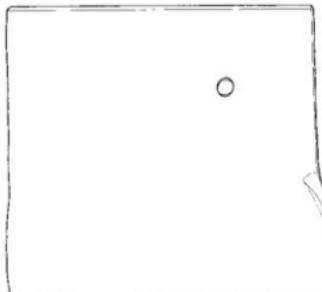
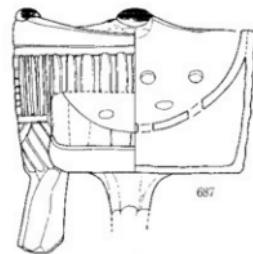
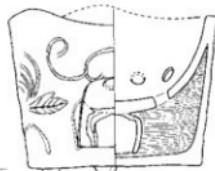
706～713は、軒丸瓦。709・713等、巴の尾が短くコマ形となるもの、また珠文の無い708が認められることから高松城編年の様相8・9を中心と考えられる。714～721は、軒平瓦あるいは軒棟瓦の軒平部。714～718は、中心飾りが半裁花菱文系のもの。714は中心飾りと唐草を陽刻線で表し、高松城編年の様相5に相当する。瓦当面には、キラコの付着が認められる。715・716及び軒棟瓦718は、様相8・9に相当する。719・720は中心飾りが宝珠文系のもので、720は様相7に相当する。721は、四葉文系の中心飾りをもつ。722～724は、棟瓦及びその軒丸部。

S8～S17は、石製品。コンテナ1/2箱程度出土している。S8は角礫凝灰岩製のもので、全面に条痕となる工具痕を残す。用途不明。S9～S11は石板。安山岩系のものを用い、両面を磨いたもの。側縁が折損するものが多いが、本来、方形形状に成形されていたものと推定される。S12～S15は、ろう石。使用のため、端部が削り減っている。S16は、チャート製の火打ち石。S17は、硯。

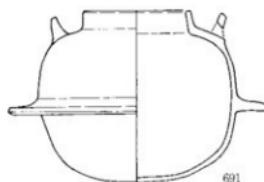
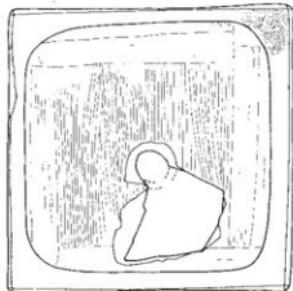
W23は木製品。木製遺物については取り上げたものはコンテナ1箱程度あるが、何れも小片で遺存状態は悪い。W23は指物の印籠で、「亀田屋」の銘が判読可能である。高松城下で亀田屋に該当するものでは、文政5年(1822)に高松藩の国産紙取扱いを専らとする御印紙漉問屋に任命された亀田屋甚右衛門が知られている。

M23～35は、金属製品。金属製品については、釣・金具類を中心にコンテナ1/4程度が出土している。M23は、風鈴の鐘部とみられる小型品。内面に短冊を吊るす舌が認められる。M24は、釣針状を呈する金具。上端に穿孔部があり、リング状の金具が繋がっている。M25・26は、鍔り金具の類か。M27は、吊手。M28～30は、錢。M31は、簪。M32～34は、釣。M35は、火箸である。

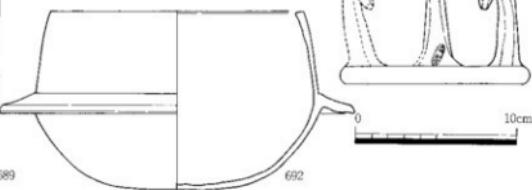
G1・2は、ガラス製品。ガラス製品についてはコンテナ1/2程度出土しており、固化したものの他、ランプ架、酒器類と推定される細片が認められる。G1は瓶で、同形のものが数個体出土している。G2はコップで、上半部円形、下半部は八角形を呈する。ガラス材には、気泡が目立つ。



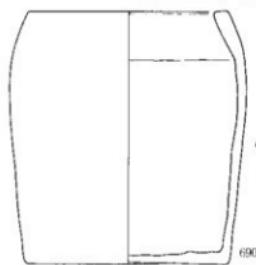
688



691

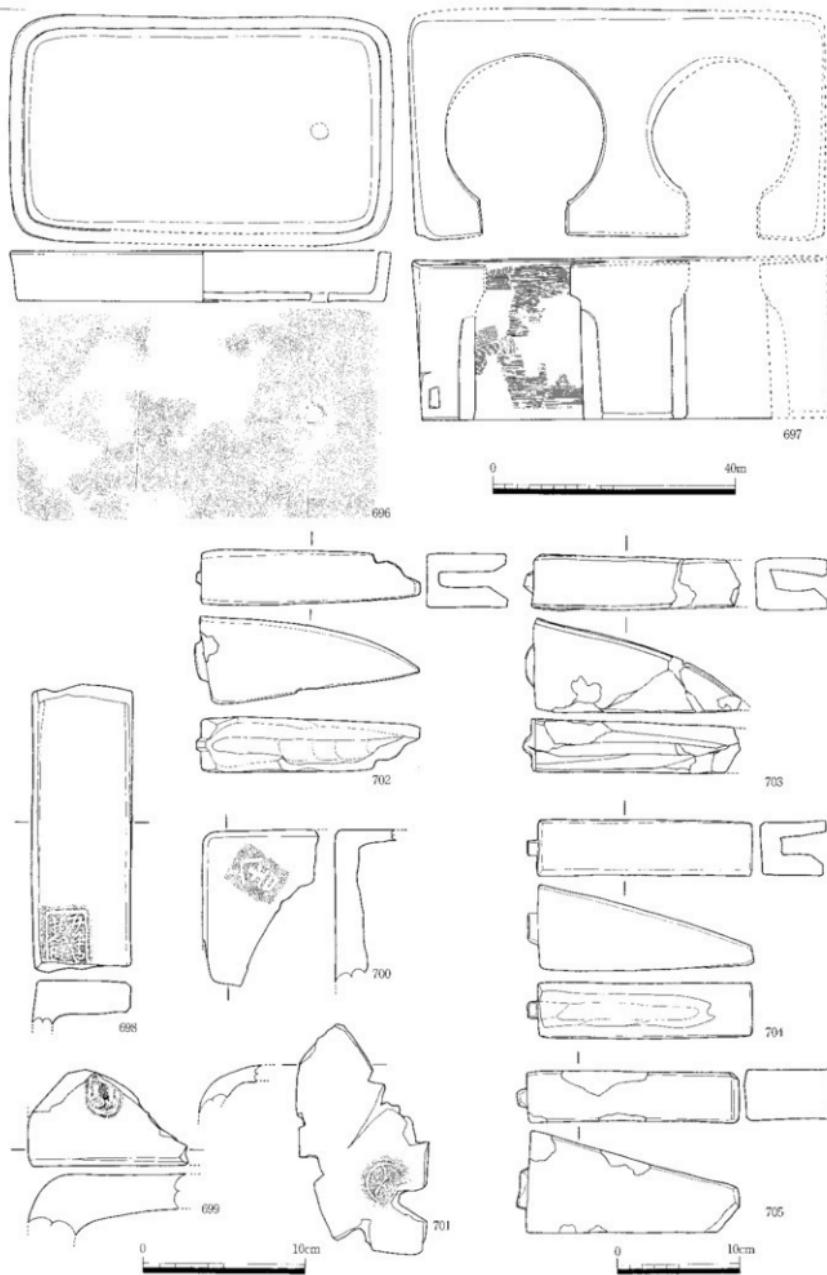


10cm

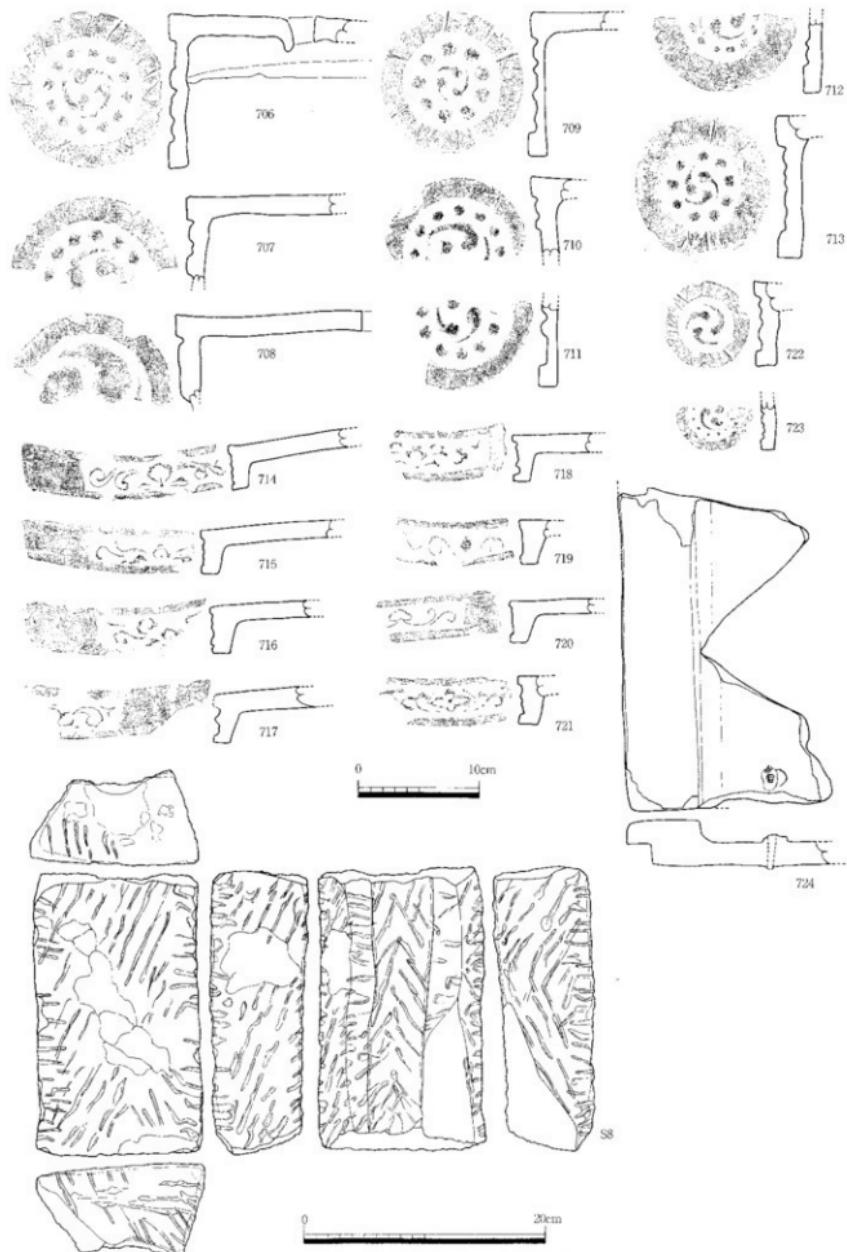


0 20cm

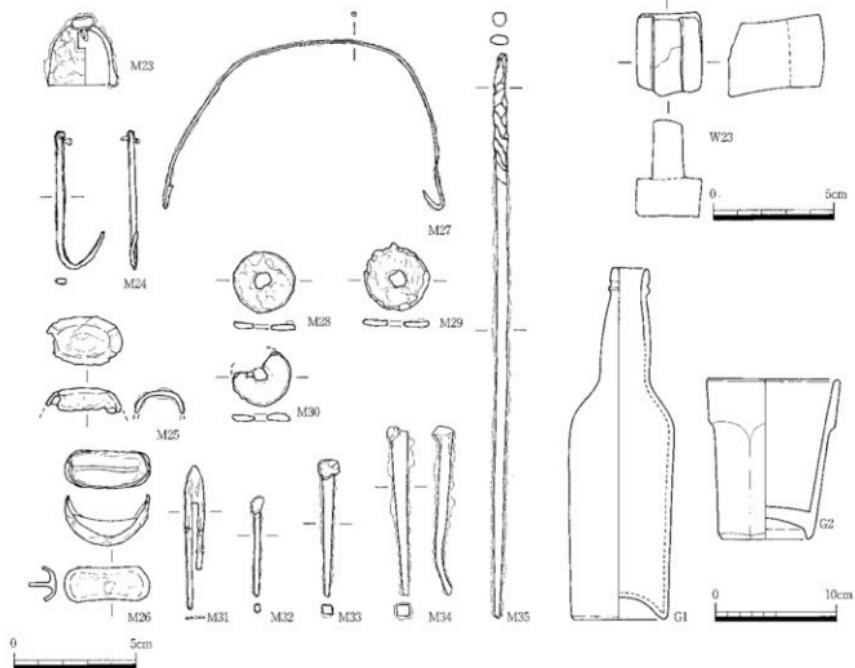
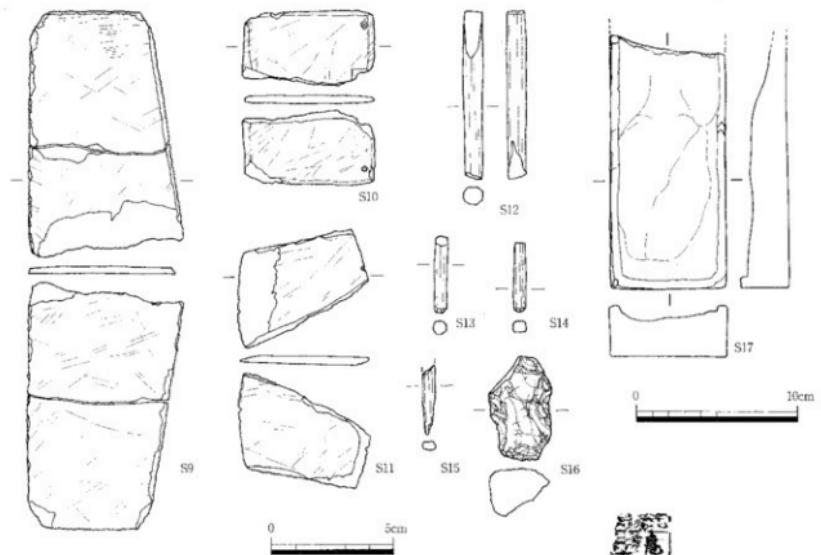
第 70 図 SX101 出土遺物実測図(1/4, 695:1/3)



第71図 SX101出土遺物実測図(1/3・1/4, 696・697:1/8)



第72図 SX101出土遺物実測図⑫(1/4)



第73図 SX101出土遺物実測図(1/2, S17:1/3, G1・2:1/4)

第6節 時期不明の遺構・遺物等

搅乱直下検出遺構（第74図参照）

以下は、搅乱直下の砂堆面で確認されO遺構面として調査を行ったものである。出土遺物がほぼ皆無である状況から、遺構の所属時期を特定することが難しいものが多いが、調査地内における遺構の様相からは、17世紀代を中心としたものと推定される。

SE001（第74図参照）

調査地西部E5、標高0.94mで確認した井戸状遺構である。南半部を欠くが、平面は1.5m程の円形と推定される。深度は0.94mで、断面はU字形を呈する。埋土は上位に拳大の円礫を含む褐灰色砂質シルトで、中位に暗灰黄色シルト質粘土が認められる。下層は円礫を含み、ややグライ化した灰色の砂質シルトが堆積しており、湧水層に達している。出土遺物は少量で、同化したもの他、土師質土器皿の細片がある。出土遺物から、概ね17世紀前葉に埋没したものと推定される。

SE001出土遺物（第74図参照）

725は備前系陶器の大甕で、口縁部の形態から乗岡編年の中世6期に相当するものとみられる。726は、土師質土器鉢であるいは内耳付鍋の口縁部。高松城編年（佐藤2003）より、様相3までの所産と考えられる。

SK001（第74図参照）

調査地北西部A6、標高1.17mで確認した土坑である。平面は、0.9m程の円形を呈する。深度は0.27m、断面は中位に段の付いたU字形を呈している。埋土は、若干量の炭・焼土粒を含んだ暗灰黄色シルトである。出土遺物は無い。

SK002（第74図参照）

調査地西部E5、標高0.94mで確認した土坑である。平面は、南北に1.05m、東西に0.56mを測る長方形を呈し、N=8°-Eの主軸方位を示す。深度は0.45m、断面は台形を呈している。埋土は、円礫を多量に含む褐灰色砂質シルトである。出土遺物は少量で、土師質土器の細片がある。

SK003（第74図参照）

調査地西端部G1、標高0.80mで確認した土坑である。平面は、1.2m程の円形を呈するが、この内側に別途埋土をもつ径0.55m程の円形部が認められる。深度は0.56m、断面は台形を呈する。土層断面の観察から、内側の円形部を固定するように外縁部及び中位に粘質土が認められ、埋甕等の掘付とその抜き取り部分と推定される。中位の粘質土はグライ化し多量の円礫を含んでおり、その下位には縮まりの無い砂が充填されている。底面は湧水層には達するものではないことから上方からの水流が窺え、遺構基盤に堆積する砂堆への排水を目的とした施設が想定される。

出土遺物は無く、所属時期は明確でないが、抜き取り痕と考案される円形部の埋土に炭・焼土が認められ、当地点で広範に存在した焼土層との関係から17世紀前葉時の所産と推定される。

SK004（第74図参照）

調査地北東隅A13、標高0.83mで確認した土坑である。平面は、東西に1.04m、南北に0.60mを測る長方形を呈し、N=8°-W前後の主軸方位を示す。深度は0.15m、断面は台形を呈している。埋土は、円礫を多量に含む褐灰色シルト質粘土である。出土遺物は無い。

SP010～SP017（第74図参照）

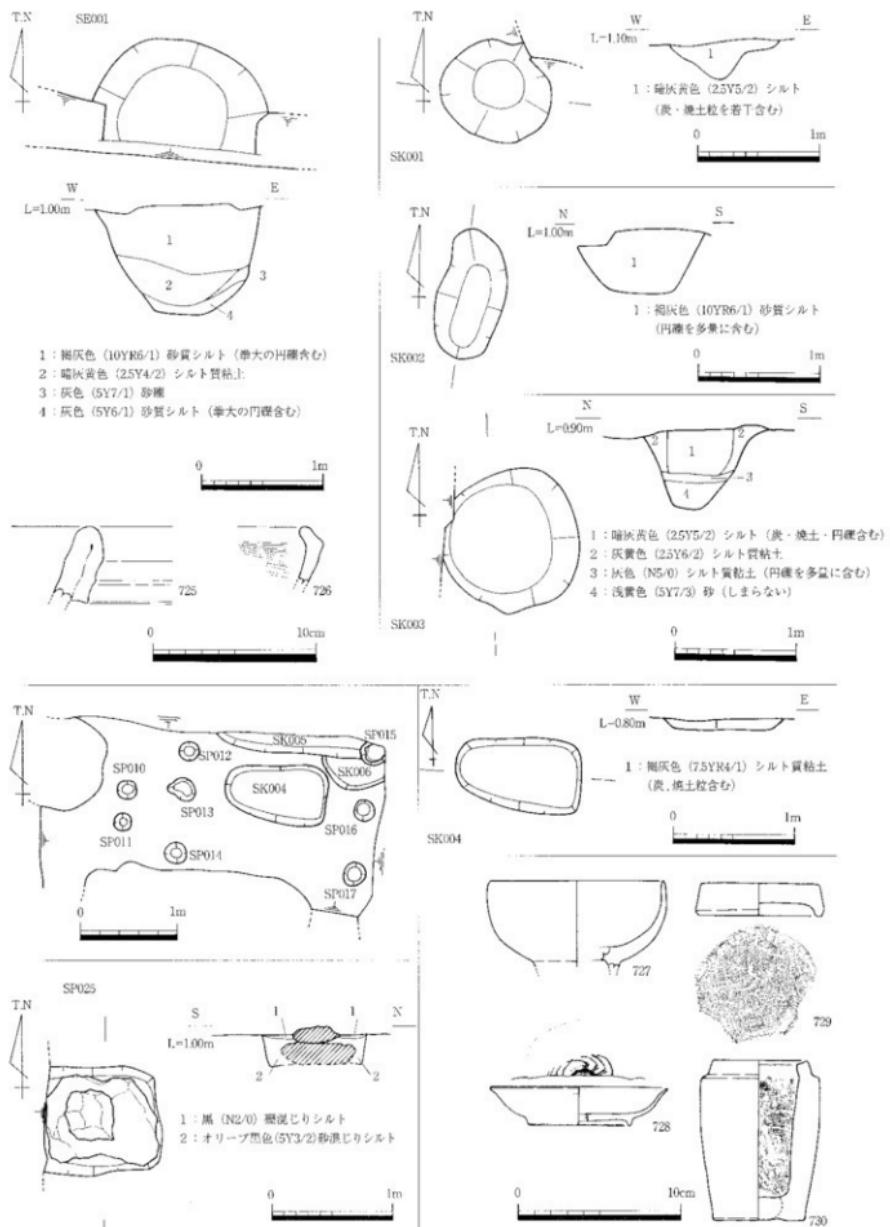
調査地北東隅A13、標高0.82～0.88mで確認した柱穴群で、N=8°-E前後の方に向筋が通るものである。柱穴は何れも径0.2mの規模をもち、SP015には根石が認められる。この内、SP012～SP014の列とSP015～SP017の列との距離が6尺5寸相当の一間となっており、梁行1×桁行2間以上の建物が想定される。またこの中央には、直交する主軸方位をもつ長方形の十坑SK004が位置しており、建物との関連も推測された。出土遺物は少量で、SP010から土師質土器足金鉢部と土師質土器の細片がある。

SP025（第74図参照）

調査地南東部F10、標高0.90mで確認した礎石である。礎石の掘付となる掘り方は、西端を欠くが、平面0.94m程の方形と推定されるもので、断面は台形を呈し、深度は0.23mを測る。底面には、根石として板状となる安山岩系の石材を据え、その上部に花崗岩系の礎石を設置したものである。軟弱な砂堆上での沈下防止策とみられるが、調査地内でこの様な工法、規模をもつものは確認できない。出土遺物は無く、所属時期は不明である。

遺構外出土遺物（第74図参照）

以下、727～730は搅乱等の遺構外出土遺物である。727は備前系陶器で、楕円形のものである。灰色を呈する胎土で、器面は暗赤灰色に焼成されている。内外面に黄ゴマが認められる。728はE2地点の出土品で、景德鎮窯系青花皿。端反の口縁部をもつ。高台内には、放射状となるカンナ痕が認められる。729・730は、板作りの焼塙壺と同蓋である。729は赤色粒を含む褐色の胎土で、内面に布目痕を残す。E7地点の出土品である。730は、長石・石英の砂粒を含む浅黄褐色の胎土で、内面に布目痕を残す。底部には、粘土塊の光塙痕が認められる。C7地点の出土品である。



第74図 SE001・SK001～004・SP025 平・断面図。A13地点砂堆面検査遺構 (1/50), SE001・遺構外出土遺物実測図 (1/3)

第4章 調査のまとめ

以下、高松城跡（廃跡）における各期の調査成果を概観する。

【小世】（第75図参照）

当該期については、遺構の遺存・確認状況が良好ではなく不明な点が多い。12世紀後半～13世紀代に埋没した旧河道を中心とした立地環境が考えられる。旧河道は北東方向を示すもので、西岸と東岸とで認められる高低差及び基盤層により、西を微高地とし、東側には低地あるいは河道底が広がっていたと推定できる。また遺構については溝、柱穴、柱穴が確認されたが、低地である東部に偏在することから地形に由来した遺存状況が考えられる。その形成時期は、低地での出土遺物から旧河道の埋没後から泊泊期を置く中世末期を中心としたものと推定される。一方、西側の微高地では遺構は未確認だが、旧河道に認められる一定量の出土遺物から、12世紀後半～13世紀代の時期に遺構が存在した可能性が想定される。なお当地の江戸川東側、高松城の南東端にあたる東町奉行所跡地（第3回参照）でも同規模、同方向を示す旧河道が確認されており、12世紀後半～13世紀代に埋没を迎える以後中世末期に至るまで低地帯として残る。複数の流路や低地の存在は築城以前に見られる「八輪島」の呼称を示唆するように思われる。島に相当する安定した中洲の存在ともあわせて、旧地形の解明が待たれる。

【近世】（第76図参照）

近世、高松城内における調査地は、以下のように周辺での調査結果や現況で認められる地割から廃跡に比定される。

当地点に既に記された絵地図は、現時点で元文5年（1740）から明治5年（1872）のものまでが認められる。描かれた既の敷地は何れも西側で大手筋に面し、南側は外堀の土塁によって隔てられている。北側についても東西方向に外曲輪を三分する道路の中で後列の筋と北接し、東側は中堀から外堀へと健形に延びる南北道路と接している。これらの地割は、現状でもその名残を容易に見出すことができる。

外堀は明治33年の埋め立て後、町屋となり現在の兵庫町・片原町の北筋に並ぶ商店街に相当する。丸亀町もまた商店が軒を並べる筋で、その山側は生駒正俊の家督相続時に遡るとされる。各々の筋は概ね条里方向を示し、直行する位置関係で整然と直線的に延びるもので、この交差箇所に高松藩の街道筋の起点でもあった太鼓橋、常盤橋が架けられていたとされる。土橋とされる生駒時代については不明な点もあるが、常盤の名が示すように何れの絵地図でもこの位置に橋の存在を認めることができる。

外堀から城内に延びる大手筋は、現在のように中堀まで達せず、絵地図では東西方向の道に突き当たるT字路となっている。外曲輪を東西に横断する道は3列あり、中堀対岸の堀端を最前列に、以南に2列存在する。この内の3列目が

大手と交わるもので、2列目に相当する道は松平大膳家中屋敷跡で検出され、西と東部で現在に残る道路の延長上にあたる。また2・3列目の道に挟まれた区画には、各々の道に面し屋敷が南北2段に並んでおり、松平大膳家中屋敷跡・丸の内地図の調査で隣接する屋敷の境が確認されている。検出された屋敷境と2列目の道との距離は約30m、15間相当となり、同距離に3列目の道が現在の道路上に想定される。

また既の東側を囲む健形の道については、松平時代の絵地図では何れも変わらず描かれ、生駒時代末期には健の向きが逆方向の東へと折れるものの、外堀へと延びる南北の区間にについては大きな変化は認められない。

以上のように、既の敷地については概ね現在に残る地割から推定でき、またこれらの地割は生駒時代末期の絵地図に遡っても大きく変わる点は見られない。よって以下、これらの地割や絵地図を参照しつつ、各小期の成果を概観する。

【17世紀前葉】（第77図参照）

井戸、土坑、溝状遺構、柱穴が確認されている。出土遺物から、高松城廻年の様相2（1620年代）までに廃絶したと考えられる。全体的には遺構の削平・擾乱が大きく、敷地内の配置状況は明確ではないが、4基記載される井戸跡（SE10. 001, 106, 103）と大半の遺構に焼土が認められる点から、生活空間となった建物の存在が想定される。当該期においては、拌領者を示した絵地図や文献資料は確認できない。

【17世紀中葉】（第78・81・82図参照）

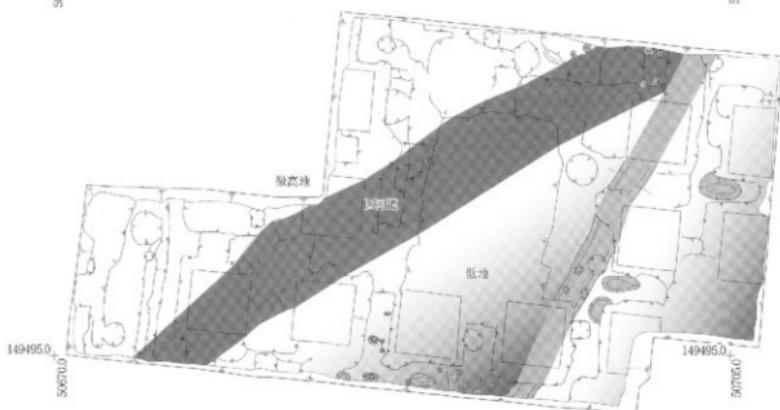
井戸、土坑、権列状遺構、柱穴、性格不明遺構が確認されている。所属時期は先行する遺構面及びSX103等の出土遺物から、1620～1660年代と考えられる。

特筆されるSX103については、次のような特徴が挙げられる。①：2×3間相当の長方形を呈し、精緻な石積をもつ井戸状遺構であること、②：①に付随して、礎敷きの廻場や階段石といった昇降部をもつこと、③：上部構造をもつ可能性があること、④：石積に生駒家の家紋が刻印されていること、である。④の刻印は、生駒正俊・高俊時代の大坂城普請に類似がある。1620年代、3期に亘って行われたとされる石普請で、幾つかのバリエーションをもつ波切車紋等、生駒家のものとされる刻印が確認されている。これによると本例の刻印は、正俊時代より用いられた波切車紋の形態と合致する。

このように刻印と推定される遺構の構築年代に矛盾はないが、遺構の施主について不明な点が残る。絵地図「生駒家時代讃岐高松城屋敷割図」によると当調査地は浅田図書、生駒左衛門佐の敷地に相当し、後述する松平時代初期の木簡からも生駒時代末期で、これらの屋敷に該当する点はほぼ確実である。よって現状では、生駒を名乗る生駒左衛門佐の屋敷に付随するものと考えるのが妥当であるが、当人物については同族の家臣間にあって不詳な点も多く、またこれらの拌領者が正俊時代に遡る記録資料もないこ

149515.0
50670.0

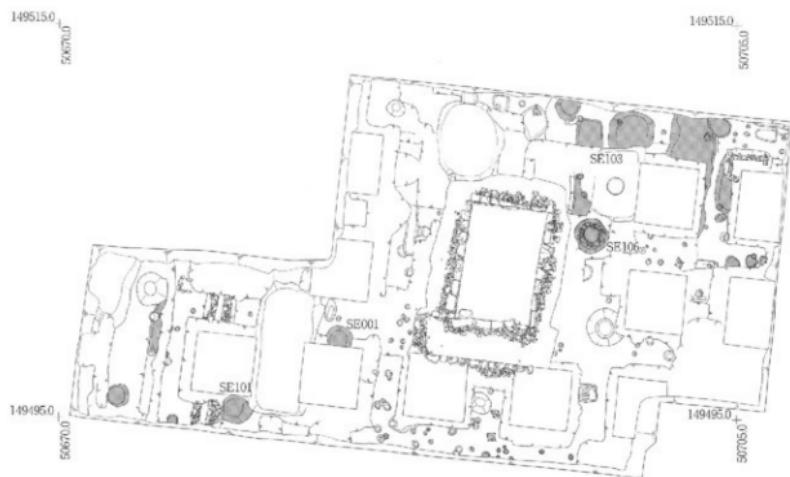
149515.0
50705.0



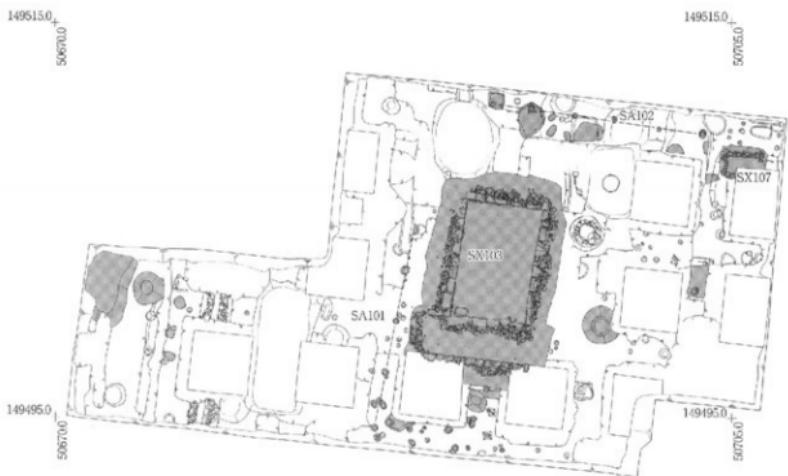
第75図 遺構変遷図-中世- (1/250)



第76図 高松城における調査地点の比定図 (1/2500)



第77図 造構変遷図－17世紀前葉－(1/250)



第78図 造構変遷図－17世紀中葉－(1/250)

とから、本来、藩用の施設、敷地に属していた可能性も想定される。

遺構の性格についても不詳な点が多いが、屋敷地が北面で道に接することを前提とすれば、南部から昇降する SX103 に対し敷地への出入り口は SX103 の北側となることから、共同の井戸・防火水槽としては考えにくく、当敷地内における使用を目的としたものが想定される。また所属時期や先に示した特徴が該当するものとして、熊本県人吉城跡で確認された 2 例の「大井戸遺構」が参考事例として挙げられる。一方は藩主を尊ぶかす程の権勢を振るい、後に「お下の乱」と呼ばれる御家騒動となつた家臣清兵衛屋敷のもので、絵図との対比から二階建ての「持仮堂」とされ宗教的な性格に加えて櫓としての軍事的な側面も考察されている。他方の例についても清兵衛屋敷の持仮堂と強い類似性を示すしながら、井戸がもつ祭祀、宗教性を重視し経堂の行水施設との想定がなされている。しかしながら本例の SX103 については人吉城跡のものに比べ、上部構造、井戸内部の状況が明確でなく、また出土遺物、記録資料でこうした軍事、宗教性を直接、示唆するものは認められない。このような状況からその性格の判断にあたっては、今後、類例や記録資料の増加、蓄積を待ち、より慎重を期すべきであろう。

また当該期は、遺構の分布が最も濃密に認められる。特に SX103 以東については石積をもつ土坑 SX107 をはじめ、同契機に廃棄されたものと推定されるものが多く、SX103 の東壁が大きく壊されていることから東側で大きな改変があつたことが窺われる。この廃絶期に相当する絵図に「高松城下図屏風」があり、洋領者の名はないが先の「生駒家時代譜岐高松城屋敷割図」及び文献資料「生駒家廃魔記」によれば、大手筋に西面して間崎半右衛門、その隣に松田庄左衛門の屋敷を想定することができる。「高松藩上由緒録」によれば、間崎半右衛門は初代高松藩主頼重に水戸より仕え高松入部時には千石を預かる年寄とされ、松田庄左衛門については京より仕え、高松入部時に三百五十石の旗奉行であったとされる。屏風絵での屋敷割は、生駒時代末期に記された屋敷と広さが逆転しており、建物の表現も広さに呼応したものとなっている。知行高によれば妥当な表現と考えられるが、SX103 から庄左衛門の弟の名を記す木簡が出土しており、嚴密には出土地点が示す屋敷の範囲と合致しない。最も想定しやすい要因に上述した東半部の改変があり、東側から木簡が流入した可能性が考えられる。また木簡に共伴する陶磁器類から弟の庄九郎が百分石を分地された寛文 4 年（1664）に改変の契機を求めるのが、改変後を示すことになる屏風の制作年代（1656 年以前に推定）と矛盾する。なお屋敷量を示す可能性のある SA101・102 があるが、この内 SA102 については比定される東西道に沿って確認されていることから、敷地の北面を画する境を示すものと考えられる。

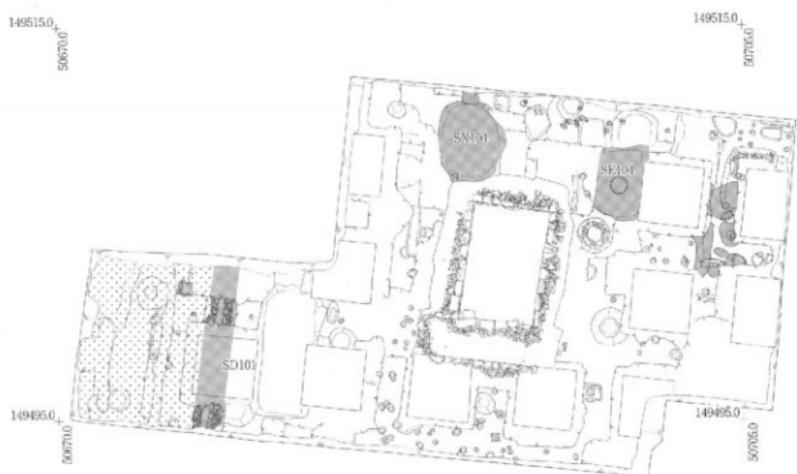
【17 世紀末葉～18 世紀前半】（第 79・82・83 図参照）

井戸、土坑、柱穴、溝が確認されている。所属時期は先行する遺構面及び SX104 等の出土遺物から、17 世

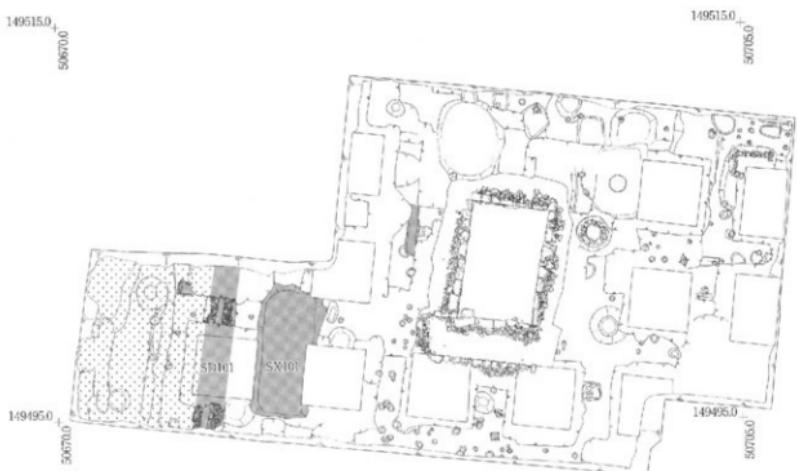
紀末葉～18 世紀前半代と考えられる。前代に比べて遺構数は減るが、多量の陶磁器、瓦等を含む SX104 の存在が目立つ。この出土遺物は高松城廻年の様相 5（18 世紀第 2 四半期）に相当し、後述する御用屋敷から屢々への移行期に合致することから、御用屋敷に関連した廃棄物と考えられる。なお出土品にある「無縫」の墨書きを記す土師質土器皿は、未だ露呈していたと考えられる SX103 と関わりでみると、廃棄における祭祀的な意味合いが想定される。東端部に分布する遺構の一群については、焼土を伴うものが多いことから享保 3 年（1718）の高松大火に関連する可能性がある。敷地・区画の変更を示すものとして、道の側溝と推定される SD101 が現在の大手筋に相当する道路脇から約 10 m 東よりに認められる。この変遷については、「高松城下図屏風」と「享保年間高松城下図」に見られる外堀大手の虎口の変更に関連するものと考えられる。「高松城下図屏風」では外堀の土塁と並ぶ高麗門を潜り、西に面する屋敷（横井嘉右衛門屋敷）の張り出しにより東へ折れるもので、その南壁に接し番所が設置されている。一方、「享保年間高松城下図」では、枡形は独立した土塀とみられるもので構成され、門は奥まった東壁へと移動し、番所の位置も東側の屋敷（御用屋敷）方向へと変更されている。西側の屋敷の張り出しがなくなり、番所が東へと移動したこと、番所を過ぎると視界の開けた空間となっている。変遷時期の詳細は不明だが、頼重時代の城改築時、あるいは享保期、高松大火後の類焼防止策に関連したものと想定される。

【18 世紀中葉～19 世紀後半】（第 80・84～86 図参照）

性格不明遺構 SX101, 108 が確認され、所属時期は出土遺物から 18 世紀中葉～19 世紀後半と考えられる。上述のように絵地図で、據の標記があるのは「譜岐国香川郡高松城図」等、元文 5 年（1740）とされるものが最も古く、これ以前の「享保年間高松城下図」（1716～1736）では御用屋敷とあり、城外の南西方向（現在の紺屋町付近）に御馬屋の標記が認められる。加えて「小神野夜話」では 5 代藩主頼恭（1739～1771 年）の時、御馬屋が内町へ移ったとの記述があることから、1739 年あるいは 1740 年に当地が既となつと考えられる。既の時期に相当する遺構の数は極端に少ないが、この状況は「東譜岐高松絵図」及び「明治五年作図高松旧城下町図」において馬場と表記されている点に相応するものと考えられる。またこの「東譜岐高松絵図」では馬場の標記と並んで、「井戸址」との記載があり、一部 SX103 が露呈した状況であったことが調査結果とともに窺われる。前代からの SD101 については、それ以降の絵地図で虎口に大きな変更点は見られず、大手筋に相当する境として存続していたものと推定される。こうした既の敷地も明治 15 年の地図「譜岐高松市街細目新図」になると電信局として標記されており、「高松市史」によれば「明治 10 年 3 月、玉藻城内に高松電信取扱所を設置。同 11 年 7 月、内町に移転」とあり、明治 11 年（1878）に既に姿を消したことが窺われる。幕末・明治初期の遺物を多量に廃棄した SX101 が確認されているが、当遺構はこの際の所産と推定される。



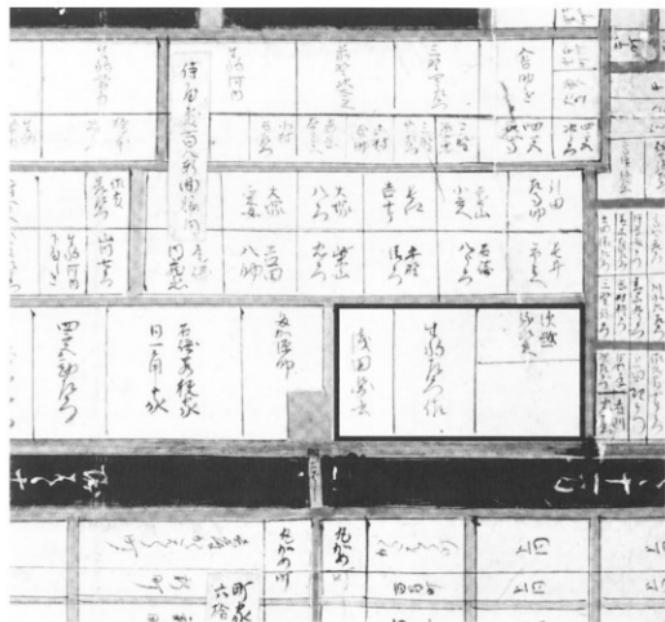
第 79 図 遺構変遷図 - 17 世紀末葉～18 世紀前半 - (1/250)



第 80 図 遺構変遷図 - 18 世紀中葉～19 世紀後半 - (1/250)

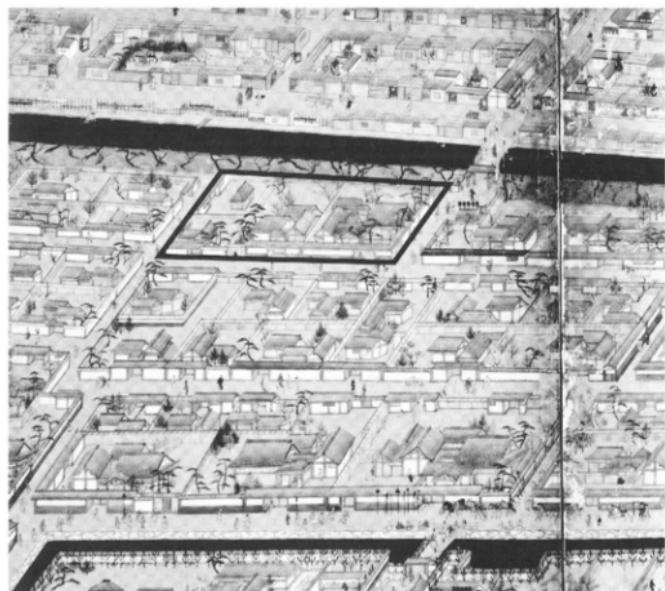
第81図

「生駒家時代譜岐高
松城屋敷図」(調
査地付近)



第82図

「高松城下図屏風」
(調査地付近)





第83図
「享保年間高松城下
図」(調査地付近)



第84図
「讃岐国香川郡高松城図」(調査地付近)

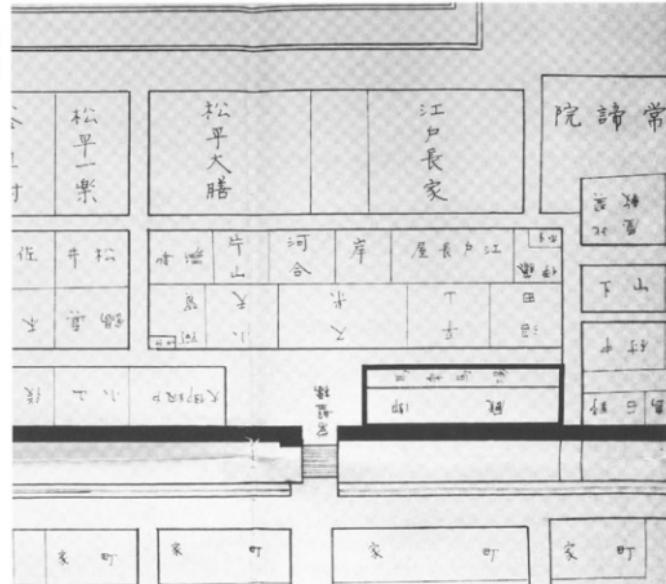
第 85 図

「東讃高松絵図」(調査地付近)



第 86 図

「明治五年作図高松
旧城下町図」(調査
地付近)



引用文献・主要参考文献

- ・鈴崎岩哉 1976「生駒歴史」矢高町公民館
- ・江戸遺跡研究会編『古説江戸考古学研究事典』柏書房
- ・小川賢はか 2001『新ヨンテンビル別館建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 高松城跡(松平大膳家上屋敷跡)』高松市教育委員会・四電ビジネス株式会社
- ・小川賢はか 2005『共同住宅建設(コトデン片原町パーキング跡地)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 高松城跡(東町奉行所跡)』高松市教育委員会・高松琴平電気鉄道株式会社
- ・大島和訓 2002『香川県介護士会館建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 高松城跡(松平大膳家中屋敷跡)』高松市教育委員会・大島康二 1994『古伊万里の文様』理工学社
- ・小野正敏 1982「15、16世紀の染付碗、皿の分類とその年代」『貿易陶磁研究』No.21 日本貿易陶磁研究会
- ・香川県 1987a『香川県史 第九巻 資料編 近世史料1』
- ・香川県 1987b『香川県史 第五巻 通史編 近代1』
- ・香川県 1989a『香川県史 第三巻 通史編 近世1』
- ・香川県 1989b『香川県史 第四巻 通史編 近世II』
- ・香川県教育委員会 1987『高松城東の火薬発掘調査報告書』
- ・香川県立文書館 1998・1999『香川県立文書館資料集1・2 高松藩御令之内備抜次巻・下巻』
- ・河原正彦 1990『京焼』『日本陶磁体系 26 京焼』平凡社
- ・河原正彦 1981『初期の京焼』『日本やきもの集成5 京都』平凡社
- ・河原正彦 1990『京焼』『日本陶磁体系 26 京焼』
- ・九州近世陶磁学会 2000『九州高岡の編年』九州近世陶磁学会 10周年記念
- ・北山健一郎 1999『香川県立博物館建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 高松城跡(附)香川県埋蔵文化財調査センター』
- ・九州近世陶磁学会 2002『国内出土の肥前陶磁』
- ・佐藤危馬 2002『サンボート高松総合整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第4冊 高松城跡(西の丸町地区)』
- ・佐藤危馬 2000『空港跡地整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第4冊 空港跡地遺跡IV』
- ・白神典之 1992『堺播磨考』『東洋陶磁 第19号』
- ・佐藤危馬 2001『瀬戸内沿岸地域からみた讃岐の培塿』『四国と周辺の上部一帯の生産と流通』
- ・三田市教育委員会 1996『三田焼の研究』三田市志手原 小西家寄贈品目録資料調査報告書一』
- ・三田市教育委員会 1991『三田焼の研究』一輪明神窯跡出土上壁①-1』
- ・三田市教育委員会 2004『三田市文化財調査報告 第20号 三田焼に関する基盤調査・史料調査事業報告』
- ・財団法人 潤戸市埋蔵文化財センター・2002『財団法人 潤戸市埋蔵文化財センター・企画展 江戸時代の美濃空』
- ・財団法人 潤戸市埋蔵文化財センター 2003『財団法人 潤戸市埋蔵文化財センター企画展江戸時代の瀬戸空』
- ・四国城下町研究会 2002『四国・淡路の御器物Ⅱ—理兵衛焼と京焼』
- ・東京大学埋蔵文化財調査室編 1990『東京大学遺跡調査発掘調査報告書3 東京大学本郷構内の遺跡 医学部付属病院地点』
- ・豊田基 1982『讃岐のやきもの』『日本やきもの集成10 四国』平凡社
- ・糸井実 2002『岡山城三之曲輪跡 - 行町一丁目地区再開発ビル建設に伴う発掘調査-』岡山市教育委員会
- ・林屋晴三 1989『日本の陶磁 13 京焼』中央公論社
- ・人吉市教育委員会 1999『史跡 人吉城跡 X 平成10年度地下室造構の発掘調査報告書』人吉市文化財調査報告書 第19集
- ・人吉市教育委員会 2003『史跡 人吉城跡 X I』人吉市文化財調査報告書 第21集
- ・鹿児島県 1995『鹿児島市史 陶磁史篇』鹿児島市
- ・藤好史郎 1996『高松藩領土地区画整理事業平成7年度埋蔵文化財発掘調査概報 高松城跡』(附)香川県埋蔵文化財調査センターほか
- ・船本佳代子 1981『大阪・奈良のやきもの』『日本やきもの集成7 近畿II』
- ・古野徳久ほか 2000『平成11年度サンボート高松総合整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告 高松城跡(西の丸町)・浜の町遺跡』(附)香川県埋蔵文化財調査センターほか
- ・堀内秀樹 1997『東京大学本郷構内の遺跡における年代的考察』『東京大学校内遺跡調査研究年報1 1996年度』東京大学埋蔵文化財調査室
- ・松本和彦 2003a『高松家庭裁判所移転に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 高松城跡(九の内地区)』香川県教育委員会・財団法人香川県埋蔵文化財調査センター
- ・松本和彦 2003b『サンボート高松総合整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第5冊 高松城跡(西の丸町地区)』(附)香川県埋蔵文化財調査センター
- ・松本和彦 2003c『空港跡地整備事業に伴う埋蔵文化財調査報告 第7冊 空港跡地遺跡VI』(附)香川県埋蔵文化財調査センター
- ・村川行弘 2002『大阪城の底』学生社
- ・森下友子 1996『高松城下の絹屋と城下の実業』『財団法人香川県埋蔵文化財調査センター 研究紀要 IV』(附)香川県埋蔵文化財調査センター
- ・森下友子 1998『まとめ』『空港跡地整備事業に伴う埋蔵文化財調査報告 第3冊 空港跡地遺跡III』香川県教育委員会ほか
- ・横田賀次郎・森田魁 1978『大字宿出土の貿易陶磁』『九州歴史資料刊行研究論集 4』
- ・森下友子 2002『直世の富田焼—古窯窯主出土遺物について』『財団法人香川県埋蔵文化財調査センター 研究紀要 X』(附)香川県埋蔵文化財調査センター

遺構観察表

企画伊丹市埋蔵文化財室企画室

遺構番号	標示深度(m)	各軸(a)(m)	幅員(m)	深さ(m)	方位	平面形状	断面形状	重複關係	地上特徴	出土遺物	施設判別	備考	
SPH01	0.02	0.20	0.26	0.21	-	円形	-	-	黒褐色(2.0%)/1層(0.1mm)/土(0.1mm)/白色(4.4%)/赤色(1.0%)	少量、二重底土基盤片、瓦瓦	半径表率~近・環代		
SPH02	0.71	0.25	0.20	0.07	-	円形	-	-	白+白色(10%)/1層(0.1mm)/土(0.1mm)	瓦	中庭表率~近・環代		
SPH03	0.94	0.20	0.13	0.11	-	円形	-	-	黒褐色(2.0%)/1層(0.1mm)/土(0.1mm)	瓦	中庭表率~近・環代		
SPH04	0.90	0.20	0.20	0.27	-	円形	-	-	黒褐色(2.0%)/1層(0.1mm)/土(0.1mm)	瓦	中庭表率~近・環代		
SPH05	0.94	0.20	0.16	0.19	-	円形	-	-	灰褐色(2.0%)/0.64mm白色(0.1mm)/土(0.1mm)	瓦	中庭表率~近・環代		
SPH06	0.93	0.30	0.24	0.17	-	円形	-	-	白+白色(10%)/0.51mm白色(0.1mm)/土(0.1mm)	瓦	中庭表率~近・環代		
SPH07	0.95	0.22	0.20	0.19	-	円形	-	-	SPH06と重複	灰褐色(3.0%)/1層(0.1mm)/土(0.1mm)	少量、砾石、七輪瓦土基盤片	中庭表率~近・環代	SA101中庭表率
SPH08	0.94	0.22	0.22	0.23	-	円形	-	SPH07と重複	灰褐色(3.0%)/1層(0.1mm)/土(0.1mm)	少量、砾石、七輪瓦土基盤片	中庭表率~近・環代		
SPH09	0.96	0.23	0.25	0.23	-	円形	-	-	灰褐色(2.0%)/1層(0.1mm)/土(0.1mm)	少量、土基盤土基盤片	中庭表率~近・環代		
SPH10	0.85	0.26	0.28	-	-	円形	-	-	灰褐色(2.0%)/1層(0.1mm)	少量、二重底土基盤片、土基盤土基盤片	中庭表率~近・環代		
SPH11	0.88	0.18	0.16	-	-	円形	-	-	灰褐色(2.0%)/1層(0.1mm)/土(0.1mm)	瓦	中庭表率~近・環代		
SPH12	0.82	0.19	0.16	0.11	-	円形	-	-	黒褐色(2.0%)/1層(0.1mm)/土(0.1mm)	瓦	中庭表率~近・環代		
SPH13	0.85	0.18	0.20	0.22	-	円形	-	-	黒褐色(2.0%)/1層(0.1mm)/土(0.1mm)	瓦	中庭表率~近・環代		
SPH14	0.95	0.21	0.22	-	-	円形	-	-	黒褐色(2.0%)/1層(0.1mm)	瓦	中庭表率~近・環代		
SPH15	0.88	0.20	0.23	0.10	-	椭円形	-	-	SA005.001と重複	灰褐色(2.0%)/1層(0.1mm)/土(0.1mm)	瓦	中庭表率~近・環代	移動跡
SPH16	0.83	0.19	0.18	-	-	円形	-	-	灰褐色(2.0%)/1層(0.1mm)/土(0.1mm)	瓦	中庭表率~近・環代		
SPH17	0.95	0.22	0.21	-	-	円形	-	-	白+白色(1.0%)/0.4mm白色(0.1mm)	瓦	中庭表率~近・環代		
SPH18	0.87	0.20	0.20	0.21	-	円形	-	-	白+白色(1.0%)/0.4mm白色(0.1mm)	瓦	中庭表率~近・環代		
SPH19	0.91	0.31	0.26	0.37	-	円形	-	-	白+白色(1.0%)/0.4mm白色(0.1mm)	少量、土基盤土基盤片	中庭表率~近・環代		
SPH20	0.76	0.26	0.25	0.19	-	円形	-	-	灰褐色(2.0%)/1層(0.1mm)/土(0.1mm)	瓦	中庭表率~近・環代		
SPH21	0.89	0.20	0.18	-	-	円形	-	-	灰褐色(2.0%)/1層(0.1mm)/土(0.1mm)	瓦	中庭表率~近・環代		
SPH22	0.91	0.14	0.12	-	-	円形	-	-	灰褐色(2.0%)/1層(0.1mm)/土(0.1mm)	瓦	中庭表率~近・環代		
SPH23	0.89	0.24	0.20	-	-	円形	-	-	灰褐色(2.0%)/1層(0.1mm)/土(0.1mm)	少量、土基盤土基盤片	中庭表率~近・環代		
SPH24	0.99	0.28	0.26	0.15	-	円形	-	-	白+白色(1.0%)/0.4mm白色(0.1mm)	少量、瓦基盤片、砾石	中庭表率~近・環代		
SPH25	0.90	0.24	0.23	-	-	円形	-	-	SA001.001と重複	灰褐色(2.0%)/1層(0.1mm)/土(0.1mm)	少量、瓦基盤片、砾石	中庭表率~近・環代	複数発見
SPH26	0.93	0.24	0.16	-	-	円形	-	-	灰褐色(2.0%)/1層(0.1mm)/土(0.1mm)	瓦	中庭表率~近・環代		
SPH27	0.92	0.24	0.18	-	-	円形	-	-	灰褐色(2.0%)/1層(0.1mm)/土(0.1mm)	瓦	中庭表率~近・環代		
SPH28	0.92	0.24	0.18	-	-	円形	-	-	灰褐色(2.0%)/1層(0.1mm)/土(0.1mm)	瓦	中庭表率~近・環代		
SPH29	0.94	0.26	0.15	0.15	-	円形	-	-	白+白色(1.0%)/0.4mm白色(0.1mm)	少量、瓦基盤片、砾石	中庭表率~近・環代		
SPH30	0.90	0.22	0.15	0.15	-	円形	-	-	白+白色(1.0%)/0.4mm白色(0.1mm)	少量、瓦基盤片、砾石	中庭表率~近・環代		
SPH31	1.17	0.89	0.96	0.27	-	円形	直径1.75m	-	-	SA004.001と重複	少量、瓦基盤片、砾石	中庭表率~近・環代	
SPH32	0.94	1.05	0.26	0.15	-	多方向	空芯	-	斜面表形	少量、土基盤土基盤片	中庭表率~近・環代		
SPH33	0.90	1.22	1.12	0.98	-	円形	斜面	-	斜面表形	少量、瓦基盤片	中庭表率~近・環代		
SPH34	0.83	1.04	0.60	0.19	N 82° ~W	無方向	無形	-	斜面表形	少量、瓦基盤片	中庭表率~近・環代		
SPH35	0.82	1.50	0.10	0.13	N 82° ~W	-	-	SA004.001と重複	灰褐色(2.0%)/1層(0.1mm)/土(0.1mm)	少量、瓦基盤片	中庭表率~近・環代		
SPH36	0.85	0.59	0.52	0.05	-	-	-	SA001.001と重複	灰褐色(2.0%)/1層(0.1mm)/土(0.1mm)	少量、瓦基盤片	中庭表率~近・環代		
SPH37	0.94	1.45	0.88	0.94	0.04E~W	U字形	-	U字形表形	少量、第4回目取削、供献大廻り、鉢質土基盤片	17世紀前半			
SPH38	1.31	0.37	0.30	0.17	(U字形)	-	-	U字形表形	少量、第4回目取削	17世紀前半~18世紀初頭			
SPH39	1.33	0.39	0.35	0.49	(U字形)	U字形	-	U字形表形	少量、第4回目取削	17世紀前半~18世紀初頭	様式名		
SPH40	1.31	0.23	0.23	0.31	円形	-	-	灰褐色(2.0%)/1層(0.1mm)/土(0.1mm)	少量、第4回目取削	17世紀前半~18世紀初頭			
SPH41	1.31	0.16	0.15	0.19	円形	-	-	灰褐色(2.0%)/1層(0.1mm)/土(0.1mm)	少量、第4回目取削	17世紀前半~18世紀初頭			
SPH42	1.29	0.18	0.15	0.30	円形	-	-	灰褐色(2.0%)/1層(0.1mm)/土(0.1mm)	少量、第4回目取削	17世紀前半~18世紀初頭			
SPH43	1.33	0.30	0.26	0.10	(円形)	-	-	SA001.001と重複	灰褐色(2.0%)/1層(0.1mm)/土(0.1mm)	17世紀前半~18世紀初頭			
SPH44	1.15	0.31	0.32	0.39	(円形)	-	-	SA001.001と重複	灰褐色(2.0%)/1層(0.1mm)/土(0.1mm)	17世紀前半	SA002と重複		
SPH45	1.16	0.29	0.18	0.16	円形	-	-	SPH07と重複	灰褐色(2.0%)/1層(0.1mm)/土(0.1mm)	少量、土質劣化基盤	17世紀前半		
SPH46	1.14	0.34	0.34	0.27	円形	-	-	SPH07と重複	灰褐色(2.0%)/1層(0.1mm)/土(0.1mm)	少量、土質劣化基盤	17世紀前半		
SPH47	1.13	0.43	0.34	0.49	偏東方	-	-	SPH07と重複	灰褐色(2.0%)/1層(0.1mm)/土(0.1mm)	少量、土質劣化基盤	17世紀前半		
SPH48	1.14	0.39	0.78	0.13	偏西向	-	-	-	灰褐色(2.0%)/1層(0.1mm)/土(0.1mm)	少量、瓦基盤片	17世紀前半		
SPH49	1.11	0.10	0.96	0.66	(円形)	-	-	-	灰褐色(2.0%)/1層(0.1mm)/土(0.1mm)	少量、瓦基盤片	17世紀前半		
SPH50	1.10	0.38	0.37	0.25	円形	-	-	-	灰褐色(2.0%)/1層(0.1mm)/土(0.1mm)	少量、瓦基盤片	17世紀前半	SA101と重複	
SPH51	1.06	0.39	0.39	0.27	円形	-	-	-	灰褐色(2.0%)/1層(0.1mm)/土(0.1mm)	少量、瓦基盤片	17世紀前半		
SPH52	1.15	0.30	0.37	0.19	円形	-	-	-	灰褐色(2.0%)/1層(0.1mm)/土(0.1mm)	少量、瓦基盤片	17世紀前半		
SPH53	1.11	0.41	0.31	0.24	均円形	-	-	-	灰褐色(2.0%)/1層(0.1mm)/土(0.1mm)	少量、瓦基盤片	17世紀前半		

遺構番号	出土品名	系輪(φ)	内輪(φ)	深度(φ)	方位	平面形状	断面形状	層級關係	埋土特徴	出土物	分類特徴	備考	
SP117	1.14	0.10	0.18	0.19	-	円形	-	-	灰褐色(10YR 5/6)シルト質粘土(小粒)	灰。	ITC中高		
SP118	1.15	0.21	0.18	-	-	円形	-	-	灰褐色(10YR 5/6)シルト質粘土(小粒)	灰。	ITC中高		
SP119	1.13	0.18	0.16	0.21	-	円形	-	-	灰褐色(10YR 5/6)シルト質粘土(小粒, 粒子大)	灰。	ITC中高		
SP120	1.13	0.46	0.33	0.06	-	椭円形	-	-	灰褐色(10YR 5/6)シルト質粘土(小粒, 粒子大)	少量。土加賀土(小粒)	ITC中高	球心底	
SP121	1.11	0.37	0.20	0.15	(円形)	-	-	SP122の後出し	灰褐色(10YR 5/6)シルト質粘土(小粒, 粒子大)	灰。	ITC中高		
SP122	1.11	0.36	0.20	0.16	-	(円形)	-	SP121の後出し	灰褐色(10YR 5/6)シルト質粘土(小粒, 粒子大)	灰。二郎型	ITC中高~19C前半		
SP123	1.13	0.24	0.22	0.16	-	円形	-	-	灰褐色(10YR 5/6)シルト質粘土(小粒, 粒子大)	少量。灰褐色。土加賀土(小粒)	ITC中高		
SP124	1.16	0.15	0.14	0.16	-	円形	-	SP123の後出し	灰褐色(10YR 5/6)シルト質粘土(小粒)	灰。	ITC中高		
SP125	1.14	0.26	0.24	0.15	-	(円形)	-	SP124の後出し	灰褐色(10YR 5/6)シルト質粘土(小粒)	灰。	ITC中高		
SP126	1.14	0.35	0.33	0.24	-	円形	-	SP125に付随	灰褐色(10YR 5/6)シルト質粘土(小粒, 粒子大)	灰。	ITC中高	球底	
SP127	1.14	0.32	0.29	0.20	-	円形	-	SP126の後出し	灰褐色(10YR 5/6)シルト質粘土(小粒, 粒子大)	中量。土加賀土(小粒)	ITC中高		
SP128	1.12	0.37	0.30	0.23	-	椭円形	-	SP127の後出し	灰褐色(10YR 5/6)シルト質粘土(小粒, 粒子大)	灰。	ITC中高~19C前半		
SP129	1.00	0.35	0.21	0.04	-	円形	-	SP128の後出し	灰褐色(10YR 5/6)シルト質粘土(小粒)	少量。土加賀土(小粒)	ITC中高~19C前半		
SP130	1.14	0.20	0.17	0.28	-	円形	-	-	灰褐色(10YR 5/6)シルト質粘土(小粒, 粒子大)	少量。土加賀土(小粒)	ITC中高		
SP131	1.16	0.17	0.15	0.28	-	円形	-	-	灰褐色(10YR 5/6)シルト質粘土(小粒, 粒子大)	灰。	ITC中高		
SP132	1.15	0.31	0.30	0.26	-	円形	-	-	灰褐色(10YR 5/6)シルト質粘土(小粒, 粒子大)	少量。土加賀土(小粒)	ITC中高		
SP133	1.15	0.18	0.16	0.12	-	円形	-	-	蝶式灰色(2.5YR 6/1)シルト	灰。	ITC中高		
SP134	1.05	0.18	0.16	0.22	-	円形	-	-	灰褐色(2.5YR 6/1)シルト	灰。	ITC中高		
SP135	1.03	0.20	0.17	-	-	円形	-	-	灰褐色(2.5YR 6/1)シルト	灰。	ITC中高		
SP136	1.09	0.38	0.30	0.22	-	(円形)	-	-	灰褐色(2.5YR 6/1)シルト(少少砂質, 粒子大)	灰。	ITC中高		
SP137	1.03	0.16	0.15	-	(円形)	-	-	-	灰褐色(2.5YR 6/1)シルト	灰。	ITC中高		
SP138	1.02	0.18	0.17	0.13	-	(円形)	-	-	灰褐色(2.5YR 6/1)シルト	灰。	ITC中高		
SP139	0.91	0.25	0.20	0.08	-	円形	-	-	蝶式灰色(10YR 5/6)シルト(小粒)	少量。土加賀土(小粒)	ITC前半	根石底	
SP140	0.89	0.29	0.25	-	-	円形	-	-	蝶式灰色(10YR 5/6)シルト(少少砂質, 粒子大)	灰。	ITC前半		
SP141	1.02	0.40	0.37	0.28	-	円形	-	SP139の後出し	灰褐色(2.5YR 6/1)シルト	少量。灰褐色(少)	ITC中高		
SP142	1.06	0.28	0.25	0.18	-	円形	-	SP141の後出し	灰褐色(2.5YR 6/1)シルト(少少砂質)	灰。	ITC前半		
SP143	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	天章		
SP144	1.06	0.23	0.22	-	-	円形	-	-	灰褐色(2.5YR 6/1)シルト質粘土(小粒, 粒子大)	灰。	ITC前半~19C前半		
SP145	1.17	0.20	0.19	0.10	0.12	-	(円形)	-	SP144の後出し	灰褐色(2.5YR 6/1)シルト質粘土(少少砂質, 粒子大)	灰。	ITC前半~19C前半	
SP146	1.13	0.43	0.31	0.20	-	(円形)	-	-	灰褐色(2.5YR 6/1)シルト質粘土(小粒, 粒子大)	灰。	ITC前半~19C前半		
SP147	1.13	0.27	0.22	-	-	円形	-	-	灰褐色(2.5YR 6/1)シルト質粘土(小粒, 粒子大)	灰。	ITC前半~19C前半		
SP148	1.05	0.20	0.09	0.45	-	(円形)	-	-	灰褐色(2.5YR 6/1)シルト質粘土(小粒, 粒子大)	灰。	ITC前半~19C前半		
SP149	1.13	0.28	0.28	0.16	-	円形	-	-	灰褐色(2.5YR 6/1)シルト質粘土(小粒, 粒子大)	灰。	ITC前半~19C前半		
SP150	1.04	0.18	0.13	-	-	円形	-	SP149の後出し	灰褐色(2.5YR 6/1)シルト質粘土(小粒, 粒子大)	灰。	ITC前半~19C前半		
SP151	1.12	0.36	0.36	0.26	-	円形	-	SP150の後出し	灰褐色(2.5YR 6/1)シルト質粘土(小粒, 粒子大)	少量。土加賀土(小粒)	ITC前半~19C前半		
SP152	1.22	0.16	0.15	0.12	-	円形	-	-	灰褐色(2.5YR 6/1)シルト(少少砂質)	灰。	ITC前半		
SP153	1.23	0.16	0.15	0.15	-	円形	-	-	灰褐色(2.5YR 6/1)シルト(少少砂質)	灰。	ITC前半		
SP154	1.19	0.24	0.11	0.27	-	(円形)	-	-	灰褐色(2.5YR 6/1)シルト質粘土	灰。	ITC前半		
SP155	1.18	0.36	0.22	-	-	椭円形	-	-	灰褐色(2.5YR 6/1)シルト	灰。	ITC前半		
SP156	1.19	0.21	0.29	0.16	-	椭丸形	-	-	灰褐色(2.5YR 6/1)シルト質粘土(少少砂質)	灰。	ITC前半	鉢底?	
SP157	1.17	0.21	0.19	0.09	-	円形	-	-	灰褐色(2.5YR 6/1)シルト質粘土	少量。灰褐色(少)	ITC前半		
SP158	1.19	0.19	0.16	0.18	-	円形	-	-	灰褐色(2.5YR 6/1)シルト質粘土	灰。	ITC前半		
SP159	1.18	0.16	0.18	0.11	-	円形	-	-	灰褐色(2.5YR 6/1)シルト(少少砂質)	少量。土加賀土(小粒)	ITC前半		
SP160	1.17	0.23	0.20	0.27	-	円形	-	-	灰褐色(2.5YR 6/1)シルト質粘土(少少砂質)	灰。	ITC前半		
SP161	1.19	0.29	0.29	0.34	-	円形	-	-	灰褐色(10YR 5/6)シルト質粘土(少少砂質)	少量。土加賀土(小粒)	ITC前半		
SP162	1.08	0.34	0.34	0.12	-	椭円形	-	SP161の後出し	灰褐色(10YR 5/6)シルト	少量。土加賀土(小粒, 廉井田泥質)	ITC前半	SAII中高	
SP163	0.98	0.43	0.38	0.15	-	椭圓形	-	SP162の後出し	灰褐色(2.5YR 6/1)シルト	灰。	ITC中高	SAII中高	
SP164	0.91	0.22	0.26	0.07	-	円形	-	-	灰褐色(2.5YR 6/1)シルト(少少砂質)	灰。	ITC中高	SAII中高	

遺跡番号	地主名(m)	長軸(oz)	短軸(oz)	深度(oz)	方位	平面形状	断面形状	遺構關係	遺物特徴		出土遺物	所属時期	備考	
									柱	梁				
SK115	..._06	1.28	(0.70)	0.29	-	(方形)	L字形	壁面凹凸部、板瓦灰瓦NIV-11(柱)付近柱土塙少 量に食入、黒灰色土等。	柱	梁	柱NIV-11付 近	11C後半	既存柱NIV-11付 近	
SK116	1.12	0.70	0.10	0.33	-	-	L字形	SP150.151.5.0 7.0(柱),	壁面凹凸部。	柱	梁	柱	11C後半	
SK117	1.04	0.70	0.15	0.13	N-07°-W	(西円形)	-	壁面凹凸部。	柱	梁	柱	11C後半		
SK118	0.39	(1.36)	0.97	0.51	-	(南北形)	六角	-	壁面凹凸部。	柱	梁	柱	11C後半	
SK119	..._0	(0.91)	0.60	0.35	-	-	段(南北形)	柱(柱より後方)、 壁面凹凸部。	壁面凹凸部。	柱	梁	柱	11C中葉	
SK120	0.58	0.50	0.60	0.11	N-08°-W	(方形)	柱	SK120付近柱。	柱	梁	柱	11C後半		
SK121	1.09	0.81	0.56	0.35	-	円形	U字形	SK121付近柱、 SK121付近柱。	柱	梁	柱	11C後半		
SK122	1.09	1.85	0.70	0.36	-	右形	-	柱(柱より後方)、 柱(柱より後方)。	柱	梁	柱	11C中葉	既存柱SK120付 近	
SK123	1.04	0.66	0.44	0.15	N-7°-W	扇形	柱(柱より後方)、 柱(柱より後方)。	柱(柱より後方)、 柱(柱より後方)。	柱(柱より後方)、 柱(柱より後方)。	柱	梁	柱	11C中葉	
SK124	0.74	1.42	1.37	0.31	N-7°-W	(東方形)	台形	SK124.15X10.5 2.5(柱),	柱(柱より後方)。	柱	梁	柱	11C後半	柱(柱より後方)、 柱(柱より後方)。
SK125	0.83	.32	(0.90)	0.40	-	(凸形)	扇形柱に接続。	柱(柱より後方)。	柱(柱より後方)。	柱	梁	柱	11C前半	
SK126	1.02	1.57	0.85	0.10	N-17°-W	(右形)	柱(柱より後方)。	柱(柱より後方)。	柱(柱より後方)。	柱	梁	柱	11C後半	
SK127	0.94	0.60	0.50	0.16	N-07°-W	扇形柱	右形	-	柱(柱より後方)、 柱(柱より後方)。	柱	梁	柱	11C後半	
SK128	0.95	0.72	0.60	0.07	-	(円形)	柱(柱)	-	柱(柱より後方)。(柱より後方)。	柱	梁	柱	11C後半	
SK129	0.84	0.62	0.57	0.16	-	円形	(右形柱)	柱(柱より後方)。	柱(柱より後方)。	柱	梁	柱	11C後半	
SK130	0.92	0.50	(0.31)	0.24	-	右円形(右形)	(台形)	-	柱(柱より後方)。	柱	梁	柱	11C前半	
SK131	0.90	0.32	0.40	0.31	-	(円形)	(台形)	-	柱(柱より後方)。	柱	梁	柱	11C前半～11C中 葉	
SK132	0.95	0.72	0.69	0.37	-	圓形	扇形	SE132.65X7.0 2.5(柱),	柱(柱より後方)。	柱	梁	柱	11C後半	
SE133	1.17	0.60	(1.16)	1.10	-	(C形)	扇形	SE133.3X10.5 2.5(柱),	柱(柱より後方)。	柱	梁	柱	11C前半	
SE134	1.11	0.80	(0.70)	1.32	-	(円形)	扇形	SE134.5X10.5 2.5(柱),	柱(柱より後方)。	柱	梁	柱	11C後半～11C中 葉	
SE135	0.83	2.35	(1.83)	0.96	-	(半形柱は 扇形柱の 接続部分)	-	柱(柱より後方)。	柱(柱より後方)。	柱	梁	柱	11C後半	柱(柱より後方)、 柱(柱より後方)。
SE136	0.15	0.66	0.86	0.22	-	円形	L字形	-	柱(柱より後方)。	柱	梁	柱	11C前半	柱(柱より後方)、 柱(柱より後方)。
SE137	0.99	1.92	(1.87)	0.68	-	円形	扇形柱(扇形)	-	柱(柱より後方)。	柱	梁	柱	11C後半	扇形柱
SE138	0.63	1.79	1.79	0.73	-	円形	扇形柱(扇形) (柱)	SE138.5X10.5 2.5(柱),	柱(柱より後方)。	柱	梁	柱	11C後半	柱(柱より後方)、 柱(柱より後方)。
SE139	1.12	1.68	1.58	1.18	-	円形	扇形(柱形) (柱)	SE139.15X10.5 2.5(柱),	柱(柱より後方)。	柱	梁	柱	11C前半	柱(柱より後方)。
SD191	1.28 -1.21	0.65 0.35	1.53 0.36	0.36	N-07°-W	直線	柱(柱)	柱(柱より後方)。	柱(柱より後方)。	柱	梁	柱	11C前半	柱(柱より後方)。
SD192	1.28	0.97 -0.95	0.70 0.40	0.29	N-07°-W	(左形柱)	柱(柱)	-	柱(柱より後方)。	柱	梁	柱	11C前半	
SD193	1.07	0.52	0.35	0.14	N-07°-W	(直線)	柱(柱)	-	柱(柱より後方)。	柱	梁	柱	11C前半	
SD194	1.11	0.58	0.49	0.07	N-07°-W	直線	L字形	SE141.5X7.0 2.5(柱),	柱(柱より後方)。	柱	梁	柱	11C後半～11C中 葉	柱(柱より後方)。
SD195	1.00	0.10	1.46	0.34	N-07°-E	直線	L字形	SE142.5X7.0 2.5(柱),	柱(柱より後方)。	柱	梁	柱	11C後半	
SD196	0.58	0.90	0.28	0.12	N-07°-W	U字形	扇形	SE143.5X7.0 2.5(柱),	柱(柱より後方)。	柱	梁	柱	11C後半	
SD197	0.55	0.10	1.00	0.30	N-07°-W	U字形	-	SE144.5X7.0 2.5(柱),	柱(柱より後方)。	柱	梁	柱	11C後半	
SD198	1.24	0.74	3.10	0.82	N-07°-W	扇形柱	柱(柱)	-	柱(柱より後方)。	柱	梁	柱	11C後半	
SG199	0.86	0.30	(2.40)	0.83	-	(台形)	-	柱(柱より後方)。	柱	梁	柱	11C後半		
SH100	1.17	0.74	7.25	1.16	N-07°-W	扇形柱	扇形柱	SE145.10X7.0 2.5(柱),	柱(柱より後方)。	柱	梁	柱	11C後半	柱(柱より後方)。
SK104	1.22	1.03	3.45	0.83	-	圓形	扇形	-	柱(柱より後方)。	柱	梁	柱	11C後半	柱(柱より後方)。

出土陶磁器・土師質土器観察表

番号	山手 番号	種類	器形	用途	測定(公分)		断面	内面(底) (高さ)	外縁(内側)	外縁(高さ)	断面	佔地	
					口径	高さ							
1. S-001	1. 1. 1. 1.	土器	深腹器	灰陶	27.8	9.6	内:灰・黄褐色 外:灰	内:灰(39.9)	外:灰(39.9)	内:灰(39.9)	内:灰(39.9)	内:灰(39.9)	
2. S-002	2. 2. 2. 2.	酒器	豆	灰陶	14.0	2.5	白	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	
3. S-003	3. 3. 3. 3.	酒器	豆	中陶	16.0	3.0	白	内:灰	外:灰	内:灰	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	
4. S-004	4. 4. 4. 4.	酒器	豆	中陶	13.0	3.0	白	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	
5. S-005	5. 5. 5. 5.	土器	深腹器	灰陶	22.7	6.3	赤褐色	内:灰(39.9)	外:灰(39.9)	内:灰(39.9)	内:灰(39.9)	内:灰(39.9)	
6. S-006	6. 6. 6. 6.	土器	深腹器	灰陶	16.4	2.9	13.3	内:灰・黄褐色 外:灰	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	
7. S-007	7. 7. 7. 7.	土器	深腹器	灰陶	13.5	8.5	内:灰・黄褐色 外:灰	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	
8. S-008	8. 8. 8. 8.	土器	深腹器	灰陶	13.3	8.5	内:灰・黄褐色 外:灰	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	
9. S-009	9. 9. 9. 9.	土器	深腹器	灰陶	0.7	0.7	白	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	
10. S-010	10. 10. 10. 10.	土器	深腹器	灰陶	1.4	3.4	白	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	
11. S-011	11. 11. 11. 11.	立	深腹器	灰陶	9.2	1.7	6.0	内:灰・黄褐色 外:灰	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	
12. S-012	12. 12. 12. 12.	土器	深腹器	灰陶	5.5	1.1	4.0	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	
13. S-013	13. 13. 13. 13.	土器	深腹器	灰陶	16.3	15.6	内:灰・黄褐色 外:灰	内:灰(39.9)	外:灰(39.9)	内:灰(39.9)	内:灰(39.9)	内:灰(39.9)	
14. S-014	14. 14. 14. 14.	土器	深腹器	灰陶	3.3	—	白	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	
15. S-015	15. 15. 15. 15.	土器	深腹器	灰陶	12.0	6.2	1.7	白	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)
16. S-016	16. 16. 16. 16.	立	深腹器	灰陶	4.2	—	白	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	
17. S-017	17. 17. 17. 17.	土器	深腹器	灰陶	4.1	—	白	内:灰	外:灰	内:灰	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	
18. S-018	18. 18. 18. 18.	立	深腹器	灰陶	9.8	1.9	4.8	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	
19. G-001	G-1. 1. 1. 1.	罐	深腹器	灰陶	4.6	—	内:灰・黄褐色 外:灰	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	
20. G-002	G-2. 2. 2. 2.	土器	深腹器	灰陶	10.4	1.9	6.0	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	
21. G-003	G-3. 3. 3. 3.	土器	深腹器	灰陶	8.8	1.2	3.5	白	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)
22. G-004	G-4. 4. 4. 4.	土器	深腹器	灰陶	2.8	1.2	白	内:灰・黄褐色 外:灰	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	
23. G-005	G-5. 5. 5. 5.	土器	深腹器	灰陶	18.4	3.8	18.0	内:灰・黄褐色 外:灰	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	
24. G-006	G-6. 6. 6. 6.	土器	深腹器	灰陶	3.0	3.0	1.5	内:灰・黄褐色 外:灰	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	
25. G-007	G-7. 7. 7. 7.	土器	深腹器	灰陶	20.6	5.7	10.0	内:灰・黄褐色 外:灰	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	
26. G-008	G-8. 8. 8. 8.	土器	深腹器	灰陶	24.7	1.1	12.0	内:灰・黄褐色 外:灰	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	
27. S-019	27. 27. 27. 27.	土器	深腹器	灰陶	1.3	4.0	4.0	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	
28. S-020	28. 28. 28. 28.	土器	深腹器	灰陶	2.5	—	白	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	
29. S-021	29. 29. 29. 29.	土器	深腹器	灰陶	10.8	2.8	5.0	白	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)
30. S-022	30. 30. 30. 30.	土器	深腹器	灰陶	10.0	2.5	5.9	白	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)
31. S-023	31. 31. 31. 31.	土器	深腹器	灰陶	4.8	—	内:灰・黄褐色 外:灰	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	
32. S-024	32. 32. 32. 32.	土器	深腹器	灰陶	4.6	—	内:灰・黄褐色 外:灰	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	
33. S-025	33. 33. 33. 33.	土器	深腹器	灰陶	15.7	—	内:灰・黄褐色 外:灰	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	
34. S-026	34. 34. 34. 34.	土器	深腹器	灰陶	33.6	5.5	5.0	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	
35. S-027	35. 35. 35. 35.	土器	深腹器	灰陶	9.2	2.1	1.5	内:灰・黄褐色 外:灰	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)
36. S-028	36. 36. 36. 36.	土器	深腹器	灰陶	11.4	6.8	4.2	内:灰・黄褐色 外:灰	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)
37. S-029	37. 37. 37. 37.	土器	深腹器	灰陶	11.2	5.9	5.0	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	
38. S-030	38. 38. 38. 38.	土器	深腹器	灰陶	4.8	5.8	5.0	内:灰・黄褐色 外:灰	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)
39. S-031	39. 39. 39. 39.	土器	深腹器	灰陶	19.4	3.6	2.1	内:灰・黄褐色 外:灰	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)
40. S-032	40. 40. 40. 40.	土器	深腹器	灰陶	10.6	2.8	6.0	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	
41. S-033	41. 41. 41. 41.	土器	深腹器	灰陶	12.6	3.4	4.6	内:灰	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	
42. S-034	42. 42. 42. 42.	土器	深腹器	灰陶	11.6	3.3	4.5	内:灰	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	
43. S-035	43. 43. 43. 43.	土器	深腹器	灰陶	13.2	2.7	3.0	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	
44. S-036	44. 44. 44. 44.	土器	深腹器	灰陶	34.0	2.6	5.0	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	
45. S-037	45. 45. 45. 45.	土器	深腹器	灰陶	13.0	6.0	5.0	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	
46. S-038	46. 46. 46. 46.	土器	深腹器	灰陶	4.0	6.0	5.0	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	
47. S-039	47. 47. 47. 47.	土器	深腹器	灰陶	8.9	1.3	8.0	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	
48. S-040	48. 48. 48. 48.	土器	深腹器	灰陶	9.0	1.5	6.4	内:灰・黄褐色 外:灰	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)
49. S-041	49. 49. 49. 49.	土器	深腹器	灰陶	9.1	1.9	6.4	内:灰・黄褐色 外:灰	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)
50. S-042	50. 50. 50. 50.	土器	深腹器	灰陶	9.1	1.8	6.7	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	
51. S-043	51. 51. 51. 51.	土器	深腹器	灰陶	11.6	2.6	7.4	内:灰	内:灰(17.1)	外:灰(17.1)	内:灰(17.1)	内:灰(17.1)	

品目	番号	市町	都道府県	面積	高さ(cm)		形状	色調1 (物の)色)	色調2 (周囲の色)	内部3 (内壁上部)	詳細	参考
					内白	黒						
105.05.05	105-05	新潟	新潟県	10.0	7.7	4.5	柱	白色	漆喰	白色	白色(乳白色)	西日本-ナチュラル系に多色変色系混有
105.05.06	105-06	新潟	新潟県	2.0	2.8	3.5	柱	柱(柱下の黄色)	白色	白色	白色(乳白色)	東北-暖色系
105.05.07	105-07	新潟	新潟県	3.9	4.5	4.5	柱(柱下の黄色)	白色	白色	白色(乳白色)	西日本-暖色系(乳白色)	西日本-暖色系(乳白色)
105.05.08	105-08	新潟	新潟県	1.4	5.0	4.5	柱	白色	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.09	105-09	新潟	新潟県	1.4	5.0	4.5	柱	白色	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.10	105-10	新潟	新潟県	12.0	1.0	4.7	柱	白色	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.11	105-11	新潟	新潟県	20.8	3.3	5.7	柱	白色	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.12	105-12	新潟	新潟県	2.6	8.0	4.5	柱	白色	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.13	105-13	新潟	新潟県	24.4	3.1	4.5	柱	柱(柱下の白色)	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.14	105-14	新潟	新潟県	19.4	3.0	10.9	柱	柱(柱下の白色)	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.15	105-15	新潟	新潟県	16.0	0.0	0.0	柱	柱(柱下の白色)	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.16	105-16	新潟	新潟県	10.6	1.9	6.4	柱	白色	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.17	105-17	新潟	新潟県	12.8	2.4	4.5	柱	柱(柱下の白色)	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.18	105-18	新潟	新潟県	14.2	3.0	6.2	柱	柱(柱下の白色)	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.19	105-19	新潟	新潟県	7.0	5.8	4.5	柱	柱(柱下の白色)	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.20	105-20	新潟	新潟県	2.4	5.2	4.5	柱	柱(柱下の白色)	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.21	105-21	新潟	新潟県	2.0	0.5	4.5	柱	柱(柱下の白色)	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.22	105-22	新潟	新潟県	15.0	3.1	6.2	柱	柱(柱下の白色)	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.23	105-23	新潟	新潟県	10.5	3.0	4.5	柱	柱(柱下の白色)	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.24	105-24	新潟	新潟県	7.0	5.8	4.5	柱	柱(柱下の白色)	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.25	105-25	新潟	新潟県	2.4	5.2	4.5	柱	柱(柱下の白色)	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.26	105-26	新潟	新潟県	9.2	3.3	3.5	柱	柱(柱下の白色)	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.27	105-27	新潟	新潟県	5.4	4.6	3.0	柱	柱(柱下の白色)	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.28	105-28	新潟	新潟県	7.6	4.8	3.8	柱	柱(柱下の白色)	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.29	105-29	新潟	新潟県	5.9	2.4	3.5	柱	柱(柱下の白色)	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.30	105-30	新潟	新潟県	6.2	3.7	4.5	柱	柱(柱下の白色)	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.31	105-31	新潟	新潟県	2.7	2.4	4.5	柱	柱(柱下の白色)	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.32	105-32	新潟	新潟県	3.1	2.1	4.5	柱	柱(柱下の白色)	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.33	105-33	新潟	新潟県	1.6	2.2	4.5	柱	柱(柱下の白色)	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.34	105-34	新潟	新潟県	9.2	3.3	3.5	柱	柱(柱下の白色)	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.35	105-35	新潟	新潟県	6.2	4.0	4.5	柱	柱(柱下の白色)	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.36	105-36	新潟	新潟県	2.9	6.0	4.5	柱	柱(柱下の白色)	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.37	105-37	新潟	新潟県	5.4	4.6	3.0	柱	柱(柱下の白色)	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.38	105-38	新潟	新潟県	13.3	6.4	4.2	柱	柱(柱下の白色)	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.39	105-39	新潟	新潟県	9.8	1.2	7.5	柱	柱(柱下の白色)	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.40	105-40	新潟	新潟県	11.6	6.3	4.6	柱	柱(柱下の白色)	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.41	105-41	新潟	新潟県	11.2	7.1	4.8	柱	柱(柱下の白色)	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.42	105-42	新潟	新潟県	5.4	4.6	4.1	柱	柱(柱下の白色)	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.43	105-43	新潟	新潟県	13.9	7.1	5.5	柱	柱(柱下の白色)	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.44	105-44	新潟	新潟県	11.8	6.8	6.1	柱	柱(柱下の白色)	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.45	105-45	新潟	新潟県	9.3	8.9	4.5	柱	柱(柱下の白色)	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.46	105-46	新潟	新潟県	1.6	0.0	4.5	柱	柱(柱下の白色)	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.47	105-47	新潟	新潟県	13.3	6.4	4.2	柱	柱(柱下の白色)	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.48	105-48	新潟	新潟県	9.8	1.2	7.5	柱	柱(柱下の白色)	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.49	105-49	新潟	新潟県	11.6	6.3	4.6	柱	柱(柱下の白色)	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.50	105-50	新潟	新潟県	11.2	7.1	4.8	柱	柱(柱下の白色)	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.51	105-51	新潟	新潟県	11.6	8.0	3.1	柱	柱(柱下の白色)	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.52	105-52	新潟	新潟県	10.5	7.5	5.0	柱	柱(柱下の白色)	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.53	105-53	新潟	新潟県	10.5	7.0	4.9	柱	柱(柱下の白色)	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.54	105-54	新潟	新潟県	11.8	7.6	5.2	柱	柱(柱下の白色)	白色	白色	白色	東北-暖色系
105.05.55	105-55	新潟	新潟県	5.7	8.8	8.0	柱	柱(柱下の白色)	白色	白色	白色	東北-暖色系

地名	山名	標高	緯度	経度	地図		説明	備考	
					約	細目			
142	山口市 西高島	山	尼山	14.2	2.7	相	黄灰1.5/5.1 内斜面、外斜面1.5/5.1/白		
143	山口市 南	山	尼山	14.0	4.0	相	灰1.7/5.1/ 灰モリーブ1.5/5.1/白	体面下4m~底付-3m+3	
144	山口市 南	山	尼山	13.3	8.3	相	灰1.5/5.1/白	内斜面に年輪の筋が伴う。大枝 付-直隣	
145	山口市 内野	山	尼山	-	1.7	相	灰1.5/5.1/3 灰2.5/5.1/3	年輪に影の筋が伴う。人物像 付-直隣	
146	山口市 南	山	尼山	14.5	4.5	相	灰1.5/5.1/2 灰1.5/5.1/2	大型而堅固	
147	山口市 南	山	尼山	13.9	4.2	相	灰1.5/5.1/2 灰1.5/5.1/2		
148	山口市 南	山	尼山	13.0	8.5	相	灰1.5/5.1/2 灰1.5/5.1/2	表面に淡い斜面有り。	
149	山口市 北	山	尼山	10.6	3.0	相	灰1.5/5.1/1 灰1.5/5.1/1	見込みに斜面14cm。破缺の跡。	
150	山口市 北	山	尼山	9.8	3.7	相	灰1.5/5.1/6 灰1.5/5.1/6	見込みに斜面14cm。	
151	山口市 北	山	尼山	12.3	4.0	相	灰1.5/5.1/2 灰1.5/5.1/2	見込みに斜面14cm。破缺の跡。	
152	山口市 北	山	尼山	14.3	4.4	相	灰1.5/5.1/1/2 灰1.5/5.1/1/2	見込みに斜面14cm。	
153	山口市 北	山	尼山	18.0	3.4	相	灰1.5/5.1/1 灰1.5/5.1/1		
154	山口市 北	山	尼山	14.0	4.9	相	灰1.5/5.1/1 灰1.5/5.1/1	灰色内に白質付着。	
155	山口市 北	山	尼山	11.8	4.1	相	灰1.5/5.1/1 灰1.5/5.1/1	見込みに斜面14cm。	
156	山口市 北	山	尼山	14.4	4.1	相	灰1.5/5.1/6 灰1.5/5.1/6	見込みに芯の筋脚部10mm有り。斜動 の跡。	
157	山口市 北	山	尼山	32.8	8.0	相	灰1.5/5.1/5 内斜面、外斜面1.5/5.1/5	新規、人種配11日。直列 連続脚	
158	山口市 北	山	尼山	-	31.4	6.5	相	灰1.5/5.1/5 内斜面、外斜面1.5/5.1/5	基部付-39.5 新規脚。大連続で直列
159	山口市 北	山	尼山	14.0	6.5	相	灰1.5/5.1/3 灰1.5/5.1/3		
160	山口市 北	山	尼山	-	2.3	7.0	相	灰1.5/5.1/6 灰1.5/5.1/6	
161	山口市 北	山	尼山	14.6	3.9	相	灰1.5/5.1/1 灰1.5/5.1/1	灰色内に灰質地。	
162	山口市 北	山	尼山	-	3.9	6.0	相	灰1.5/5.1/2 灰1.5/5.1/2	灰色内に斜面の筋脚部。
163	山口市 北	山	尼山	-	11.0	相	灰1.5/5.1/0 灰1.5/5.1/0	新規脚。	
164	山口市 北	山	尼山	2.1	9.0	相	灰1.5/6.1/1 灰1.5/6.1/1	法面-49.5X	
165	山口市 北	山	尼山	10.6	8.6	相	灰1.5/5.1/0/2 内斜面、外斜面1.5/5.1/0/2		
166	山口市 北	山	尼山	10.0	8.0	相	灰1.5/5.1/0/2 内斜面、外斜面1.5/5.1/0/2		
167	山口市 北	山	尼山	12.0	11.0	相	灰1.5/5.1/0/2 内斜面、外斜面1.5/5.1/0/2		
168	山口市 北	山	尼山	-	2.1	3.3	相	灰1.5/5.1/2/6 灰モリーブ2/4/6	浅い凹凸脚部。
169	山口市 北	山	尼山	5.4	2.7	相	灰1.5/5.1/2/6 灰1.5/5.1/2/6	空洞化。	
170	山口市 北	山	尼山	27.6	12.6	相	灰1.5/6.0/2/2 内斜面、外斜面1.5/6.0/2/2	六面、断面直方体の斜面 モリーブ2/5.2/2/2/2/2	
171	山口市 北	山	尼山	7.6	3.6	相	灰1.5/6.0/2/2 内斜面、外斜面1.5/6.0/2/2		
172	山口市 北	山	尼山	12.0	11.0	相	灰1.5/6.0/2/2 内斜面、外斜面1.5/6.0/2/2	内斜面1.5/6.0/2/2	
173	山口市 北	山	尼山	14.5	10.0	相	灰1.5/6.0/2/4 内斜面、外斜面1.5/6.0/2/4	内斜面1.5/6.0/2/4	
174	山口市 北	山	尼山	8.8	10.7	相	灰1.5/6.0/1/1 内斜面、外斜面1.5/6.0/1/1	内斜面1.5/6.0/1/1	
175	山口市 北	山	尼山	20.0	15.6	相	灰1.5/6.0/1/0 内斜面、外斜面1.5/6.0/1/0	内斜面1.5/6.0/1/0	
176	山口市 北	山	尼山	19.2	4.7	相	灰1.5/6.0/1/0 内斜面、外斜面1.5/6.0/1/0	内斜面1.5/6.0/1/0	
177	山口市 北	山	尼山	-	6.6	相	灰1.5/6.0/1/2/4 内斜面、外斜面1.5/6.0/1/2/4	内斜面、外斜面1.5/6.0/1/2/4	
178	山口市 北	山	尼山	30.8	11.9	15.2	相	灰1.5/6.0/1/2/4 内斜面、外斜面1.5/6.0/1/2/4	内斜面、外斜面1.5/6.0/1/2/4
179	山口市 北	山	尼山	36.2	14.0	14.0	相	灰1.5/6.0/1/2/4 内斜面、外斜面1.5/6.0/1/2/4	内斜面、外斜面1.5/6.0/1/2/4
180	山口市 北	山	尼山	14.2	2.8	9.4	相	灰1.5/6.0/1/2/4 内斜面、外斜面1.5/6.0/1/2/4	内斜面1.5/6.0/1/2/4
181	山口市 北	山	尼山	18.5	1.6	10.0	相	灰1.5/6.0/1/2/4 内斜面、外斜面1.5/6.0/1/2/4	内斜面1.5/6.0/1/2/4
182	山口市 北	山	尼山	14.1	3.0	10.0	相	灰1.5/6.0/1/2/4 内斜面、外斜面1.5/6.0/1/2/4	内斜面1.5/6.0/1/2/4
183	山口市 北	山	尼山	13.3	2.0	9.5	相	灰1.5/6.0/1/2/4 内斜面、外斜面1.5/6.0/1/2/4	内斜面1.5/6.0/1/2/4
184	山口市 北	山	尼山	12.6	2.3	6.3	相	灰1.5/6.0/1/2/4 内斜面、外斜面1.5/6.0/1/2/4	内斜面1.5/6.0/1/2/4
185	山口市 北	山	尼山	13.0	2.4	8.5	相	灰1.5/6.0/1/2/4 内斜面、外斜面1.5/6.0/1/2/4	内斜面1.5/6.0/1/2/4

種類	科	種名	原産地	形態(1)	形態(2)	形態(3)	形態(4)	調査	備考
地上部 葉被植物	禾本科	高粱	原産地 不詳	一穀 葵狀葉被	葉被枝多葉互生	葉被枝多葉互生	葉被枝多葉互生	内高葉-外高葉	内高葉-外高葉
734	OX1010-草 木	千金子	高粱	0.5 1.7				内高葉-外高葉	内高葉-外高葉
228	OX1010-草 木	土珊瑚	高粱	2.7 3.5		葉被枝少葉互生	葉被枝少葉互生	内高葉-外高葉-3 内高葉-外高葉-2	内高葉-外高葉-2 内高葉-外高葉-1
228	OX1010-草 木	土珊瑚	高粱	3.7 4.6		葉被枝少葉互生	葉被枝少葉互生	内高葉-外高葉	内高葉-外高葉
227	OX1010-草 木	千金子	高粱	6.3 1.5		葉被枝少葉互生	葉被枝少葉互生	内高葉-外高葉	内高葉-外高葉
228	OX1010-草 木	千金子	高粱	0.8 2.0		葉被枝少葉互生	葉被枝少葉互生	内高葉-外高葉	内高葉-外高葉
229	OX1010-草 木	土珊瑚	高粱	5.3 8.1	4.5	葉被枝少葉互生	葉被枝少葉互生	内高葉-外高葉	内高葉-外高葉
230	OX1010-草 木	土珊瑚	高粱	6.3 8.9	4.5	葉被枝少葉互生	葉被枝少葉互生	内高葉-外高葉	内高葉-外高葉
231	OX1010-草 木	千金子	高粱	5.8 9.0	5.5	葉被枝少葉互生	葉被枝少葉互生	内高葉-外高葉-2 内高葉-外高葉-1	内高葉-外高葉-2 内高葉-外高葉-1
232	OX1010-草 木	千金子	高粱	8.3 3.8		葉被枝少葉互生	葉被枝少葉互生	内高葉-外高葉	内高葉-外高葉
233	OX1010-草 木	土珊瑚	高粱	0.4 8.7	4.6	葉被枝少葉互生	葉被枝少葉互生	内高葉-外高葉	内高葉-外高葉
234	OX1010-草 木	土珊瑚	高粱	6.7 8.1	6.1	葉被枝少葉互生	葉被枝少葉互生	内高葉-外高葉	内高葉-外高葉
235	OX1010-草 木	千金子	高粱	6.2 8.7	4.1	葉被枝少葉互生	葉被枝少葉互生	内高葉-外高葉	内高葉-外高葉
236	OX1010-草 木	千金子	高粱	6.3 9.2	4.9	葉被枝少葉互生	葉被枝少葉互生	内高葉-外高葉-4 内高葉-外高葉-3	内高葉-外高葉
237	OX1010-草 木	千金子	高粱	5.6 9.5	2.4	葉被枝少葉互生	葉被枝少葉互生	内高葉-外高葉-3 内高葉-外高葉-2	内高葉-外高葉
238	OX1010-草 木	土珊瑚	高粱	5.3 9.5	4.8	葉被枝少葉互生	葉被枝少葉互生	内高葉-外高葉-4 内高葉-外高葉-3	内高葉-外高葉
239	OX1010-草 木	土珊瑚	高粱	6.8 8.8	4.6	葉被枝少葉互生	葉被枝少葉互生	内高葉-外高葉-5 内高葉-外高葉-4	内高葉-外高葉
240	OX1010-草 木	土珊瑚	高粱	5.5 9.7	0.0	葉被枝少葉互生	葉被枝少葉互生	内高葉-外高葉-6 内高葉-外高葉-5	内高葉-外高葉
241	OX1010-草 木	土珊瑚	高粱	6.8 10.7	4.8	葉被枝少葉互生	葉被枝少葉互生	内高葉-外高葉-6 内高葉-外高葉-5	内高葉-外高葉-5 内高葉-外高葉-4
242	OX1010-草 木	土珊瑚	高粱	2.6		葉被枝少葉互生	葉被枝少葉互生	内高葉-外高葉-5 内高葉-外高葉-4	内高葉-外高葉-4 内高葉-外高葉-3
243	OX1010-草 木	土珊瑚	高粱	70.0 0.0		葉被枝少葉互生	葉被枝少葉互生	内高葉-外高葉-4 内高葉-外高葉-3	内高葉-外高葉-3 内高葉-外高葉-2
244	OX1010-草 木	土珊瑚	高粱	26.6 8.3		葉被枝少葉互生	葉被枝少葉互生	内高葉-外高葉-5 内高葉-外高葉-4	内高葉-外高葉
245	OX1010-草 木	土珊瑚	高粱	30.8 7.9		葉被枝少葉互生	葉被枝少葉互生	内高葉-外高葉-5 内高葉-外高葉-4	内高葉-外高葉
246	OX1010-草 木	土珊瑚	高粱	39.1 8.1		葉被枝少葉互生	葉被枝少葉互生	内高葉-外高葉-5 内高葉-外高葉-4	内高葉-外高葉
247	OX1010-草 木	土珊瑚	高粱	38.4 4.6		葉被枝少葉互生	葉被枝少葉互生	内高葉-外高葉-5 内高葉-外高葉-4	内高葉-外高葉
248	OX1010-草 木	瓦當	高粱	30.7 28.9		葉被枝少葉互生	葉被枝少葉互生	内高葉-外高葉-5 内高葉-外高葉-4	内高葉-外高葉
249	OX1010-草 木	土珊瑚	人頭	4.6 19.1	2.5	葉被枝少葉互生	葉被枝少葉互生	内高葉-外高葉-4 内高葉-外高葉-3	内高葉-外高葉
250	OX1010-草 木	土珊瑚	人頭	4.6 19.1	2.5	葉被枝少葉互生	葉被枝少葉互生	内高葉-外高葉-4 内高葉-外高葉-3	内高葉-外高葉
251	OX1010-草 木	土珊瑚	人頭	11.2 6.2	0.0	葉被枝少葉互生	葉被枝少葉互生	内高葉-外高葉-4 内高葉-外高葉-3	内高葉-外高葉-3 内高葉-外高葉-2
252	OX1010-草 木	土珊瑚	人頭	5.9		葉被枝少葉互生	葉被枝少葉互生	内高葉-外高葉-3 内高葉-外高葉-2	内高葉-外高葉-2 内高葉-外高葉-1
253	OX1010-草 木	土珊瑚	人頭	3.6		葉被枝少葉互生	葉被枝少葉互生	内高葉-外高葉-5 内高葉-外高葉-4	内高葉-外高葉
254	OX1010-草 木	土珊瑚	人頭	10.6 1.5	2.5	葉被枝少葉互生	葉被枝少葉互生	内高葉-外高葉-4 内高葉-外高葉-3	内高葉-外高葉
255	OX1010-草 木	土珊瑚	人頭	10.6 1.5	2.5	葉被枝少葉互生	葉被枝少葉互生	内高葉-外高葉-4 内高葉-外高葉-3	内高葉-外高葉
256	OX1010-草 木	土珊瑚	人頭	1.3 8.6	4.3	葉被枝少葉互生	葉被枝少葉互生	内高葉-外高葉-3 内高葉-外高葉-2	内高葉-外高葉
257	OX1010-草 木	土珊瑚	人頭	5.9		葉被枝少葉互生	葉被枝少葉互生	内高葉-外高葉-3 内高葉-外高葉-2	内高葉-外高葉
258	OX1010-草 木	土珊瑚	人頭	10.6 5.5	4.0	葉被枝少葉互生	葉被枝少葉互生	内高葉-外高葉-3 内高葉-外高葉-2	内高葉-外高葉
259	OX1010-草 木	土珊瑚	人頭	10.6 5.5	4.0	葉被枝少葉互生	葉被枝少葉互生	内高葉-外高葉-3 内高葉-外高葉-2	内高葉-外高葉
260	OX1010-草 木	土珊瑚	人頭	9.8 5.6	3.8	葉被枝少葉互生	葉被枝少葉互生	内高葉-外高葉-3 内高葉-外高葉-2	内高葉-外高葉
261	OX1010-草 木	土珊瑚	人頭	10.8 5.9	1.2	葉被枝少葉互生	葉被枝少葉互生	内高葉-外高葉-3 内高葉-外高葉-2	内高葉-外高葉
262	OX1010-草 木	土珊瑚	人頭	11.0 6.0	0.1	葉被枝少葉互生	葉被枝少葉互生	内高葉-外高葉-3 内高葉-外高葉-2	内高葉-外高葉
263	OX1010-草 木	土珊瑚	人頭	11.5 6.2	0.2	葉被枝少葉互生	葉被枝少葉互生	内高葉-外高葉-3 内高葉-外高葉-2	内高葉-外高葉
264	OX1010-草 木	土珊瑚	人頭	1.8 6.0		葉被枝少葉互生	葉被枝少葉互生	内高葉-外高葉-3 内高葉-外高葉-2	内高葉-外高葉
265	OX1010-草 木	土珊瑚	人頭	1.1 16.6		葉被枝少葉互生	葉被枝少葉互生	内高葉-外高葉-3 内高葉-外高葉-2	内高葉-外高葉
266	OX1010-草 木	土珊瑚	人頭	20.0 3.2	7.8	葉被枝少葉互生	葉被枝少葉互生	内高葉-外高葉-3 内高葉-外高葉-2	内高葉-外高葉
267	OX1010-草 木	土珊瑚	人頭	10.2 1.3	4.6	葉被枝少葉互生	葉被枝少葉互生	内高葉-外高葉-3 内高葉-外高葉-2	内高葉-外高葉

项目	“本土” 俗名	植物学 名称	产地	空 气 温 度		株数	色调1 (绿, G)	色调2 (暗绿, D)	色调3 (黄, Y)	类型	参考
				平均 温度	波动						
005.01.01	凤尾	日 本·凤尾草	10.2 2.0	1.0	雨	80	7.0/7.8/1	灰绿			地面植被带
006.01.01	凤尾	波氏凤尾草	6.6 1.3	2.5	雨	80	8.2/8.7/1	灰绿			
007.01.01	凤尾	羽状凤尾草	7.8 1.4	2.0	雨	80	7.0/7.7/1	暗绿	透明		
008.01.01	凤尾	波氏凤尾草	10.5 1.9	3.5	雨	80	8.2/8.7/2	灰绿			地面植被带
009.01.01	凤尾	黄凤尾草	7.3 1.5	1.7	雨	80	7.0/7.8/1	灰绿			
010.01.01	黄尾	波氏黄尾草	8.2 0.0	0.8	雨	80	7.0/7.8/0	灰绿	0.5/7.5		
011.01.01	黄尾	波氏黄尾草	5.5 1.8	3.8	雨	80	7.0/7.8/1	灰绿			
012.01.01	黄尾	波氏黄尾草	1.8 4.8	1.5	雨	80	7.0/7.8/1	暗绿	0.5/0.5/0.5	低地植被带	
013.01.01	黄尾	波氏黄尾草	10.4 5.5	4.2	雨	80	7.0/7.8/1	灰绿			丘陵带山脊、谷底带、平原带
014.01.01	黄尾	波氏黄尾草	10.6 5.2	5.2	雨	80	7.0/7.8/1	灰绿	0.5/0.5/0.5	丘陵带山脊、谷底带、平原带	
015.01.01	肉桂	日本·肉桂	10.0 12.1	8.0	雨	80	7.0/7.8/1	灰绿	0.5/0.5/0.5	丘陵带山脊、谷底带、平原带	
016.01.01	肉桂	日本·肉桂	17.0 6.4	6.0	雨	80	7.0/7.8/1	灰绿	0.5/0.5/0.5	丘陵带山脊、谷底带、平原带	
017.01.01	肉桂	日本·肉桂	10.0 6.7	9.8	雨	80	7.0/7.8/2	灰绿	0.5/0.5/0.5	丘陵带山脊、谷底带、平原带	
018.01.01	肉桂	日本·肉桂	8.6 9.8	1.0	雨	80	7.0/7.8/1	灰绿	0.5/0.5/0.5	丘陵带山脊、谷底带、平原带	
019.01.01	肉桂	日本·肉桂	12.1 13.0	9.0	雨	80	7.0/7.8/1	灰绿	0.5/0.5/0.5	丘陵带山脊、谷底带、平原带	
020.01.01	海桐	日本·海桐	15.0 15.7	1.4	雨	80	7.0/7.8/1	灰绿	0.5/0.5/0.5	丘陵带山脊、谷底带、平原带	
021.01.01	海桐	日本·海桐	14.6 6.3	6.0	雨	80	7.0/7.8/1	灰绿	0.5/0.5/0.5	丘陵带山脊、谷底带、平原带	
022.01.01	海桐	日本·海桐	10.6 9.2	9.8	雨	80	7.0/7.8/0	灰绿	0.5/0.5/0.5	丘陵带山脊、谷底带、平原带	
023.01.01	海桐	日本·海桐	22.0 11.0	12.1	雨	80	7.0/7.8/2	灰绿	0.5/0.5/0.5	丘陵带山脊、谷底带、平原带	
024.01.01	海桐	日本·海桐	21.8 18.0	19.0	雨	80	7.0/7.8/1	灰绿	0.5/0.5/0.5	丘陵带山脊、谷底带、平原带	
025.01.01	海桐	日本·海桐	5.1 14.1	15.1	雨	80	7.0/7.8/1	灰绿	0.5/0.5/0.5	丘陵带山脊、谷底带、平原带	
026.01.01	海桐	日本·海桐	28.1 11.1	11.2	雨	80	7.0/7.8/1	灰绿	0.5/0.5/0.5	丘陵带山脊、谷底带、平原带	
027.01.01	海桐	日本·海桐	28.5 16.0	11.9	雨	80	7.0/7.8/1	灰绿	0.5/0.5/0.5	丘陵带山脊、谷底带、平原带	
028.01.01	海桐	日本·海桐	17.5 14.2	18.0	雨	80	7.0/7.8/2	灰绿	0.5/0.5/0.5	丘陵带山脊、谷底带、平原带	
029.01.01	海桐	日本·海桐	7.0 19.9	—	雨	80	7.0/7.8/2	灰绿	0.5/0.5/0.5	丘陵带山脊、谷底带、平原带	
030.01.01	海桐	日本·海桐	19.0 13.3	12.4	雨	80	7.0/7.8/1	灰绿	0.5/0.5/0.5	丘陵带山脊、谷底带、平原带	
031.01.01	海桐	日本·海桐	23.4 6.7	12.2	雨	80	7.0/7.8/2	灰绿	0.5/0.5/0.5	丘陵带山脊、谷底带、平原带	
032.01.01	海桐	日本·海桐	27.0 14.3	15.0	雨	80	7.0/7.8/2	灰绿	0.5/0.5/0.5	丘陵带山脊、谷底带、平原带	
033.01.01	海桐	日本·海桐	31.4 10.9	14.6	雨	80	7.0/7.8/1	灰绿	0.5/0.5/0.5	丘陵带山脊、谷底带、平原带	
034.01.01	海桐	日本·海桐	32.8 19.9	23.8	雨	80	7.0/7.8/1	灰绿	0.5/0.5/0.5	丘陵带山脊、谷底带、平原带	
035.01.01	海桐	日本·海桐	6.4 0.9	3.8	雨	80	7.0/7.8/2	灰绿	0.5/0.5/0.5	丘陵带山脊、谷底带、平原带	
036.01.01	海桐	日本·海桐	1.5	—	雨	80	7.0/7.8/1	灰绿	0.5/0.5/0.5	丘陵带山脊、谷底带、平原带	
037.01.01	海桐	日本·海桐	12.0 4.1	2.7	雨	80	7.0/7.8/2	灰绿	0.5/0.5/0.5	丘陵带山脊、谷底带、平原带	
038.01.01	海桐	日本·海桐	19.2 10.2	11.4	雨	80	7.0/7.8/1	灰绿	0.5/0.5/0.5	丘陵带山脊、谷底带、平原带	
039.01.01	海桐	日本·海桐	13.8 1.8	—	雨	80	7.0/7.8/6	灰绿	0.5/0.5/0.5	丘陵带山脊、谷底带、平原带	
040.01.01	海桐	日本·海桐	12.2 11.0	8.6	雨	80	7.0/7.8/4	灰绿	0.5/0.5/0.5	丘陵带山脊、谷底带、平原带	
041.01.01	海桐	日本·海桐	12.2 9.7	9.9	雨	80	7.0/7.8/5	灰绿	0.5/0.5/0.5	丘陵带山脊、谷底带、平原带	
042.01.01	海桐	日本·海桐	18.0 4.3	8.6	雨	80	7.0/7.8/5	灰绿	0.5/0.5/0.5	丘陵带山脊、谷底带、平原带	
043.01.01	海桐	日本·海桐	2.2 4.1	—	雨	80	7.0/7.8/5	灰绿	0.5/0.5/0.5	丘陵带山脊、谷底带、平原带	
044.01.01	海桐	日本·海桐	3.4 18.7	6.9	雨	80	7.0/7.8/5	灰绿	0.5/0.5/0.5	丘陵带山脊、谷底带、平原带	
045.01.01	海桐	日本·海桐	6.7 11.0	—	雨	80	7.0/7.8/2	灰绿	0.5/0.5/0.5	丘陵带山脊、谷底带、平原带	
046.01.01	海桐	日本·海桐	10.3 10.9	6.7	雨	80	7.0/7.8/3	灰绿	0.5/0.5/0.5	丘陵带山脊、谷底带、平原带	
047.01.01	海桐	日本·海桐	18.0 4.3	8.6	雨	80	7.0/7.8/4	灰绿	0.5/0.5/0.5	丘陵带山脊、谷底带、平原带	
048.01.01	海桐	日本·海桐	28.0 10.6	11.8	雨	80	7.0/7.8/1	灰绿	0.5/0.5/0.5	丘陵带山脊、谷底带、平原带	
049.01.01	海桐	日本·海桐	31.2 1.9	1.4	雨	80	7.0/7.8/1	灰绿	0.5/0.5/0.5	丘陵带山脊、谷底带、平原带	
050.01.01	海桐	日本·海桐	11.3 4.4	8.6	雨	80	7.0/7.8/4	灰绿	0.5/0.5/0.5	丘陵带山脊、谷底带、平原带	
051.01.01	海桐	日本·海桐	22.0 2.2	12.4	雨	80	7.0/7.8/1	灰绿	0.5/0.5/0.5	丘陵带山脊、谷底带、平原带	
052.01.01	海桐	日本·海桐	7.6 2.0	1.6	雨	80	7.0/7.8/3	灰绿	0.5/0.5/0.5	丘陵带山脊、谷底带、平原带	
053.01.01	海桐	日本·海桐	19.0 3.8	10.5	雨	80	7.0/7.8/4	灰绿	0.5/0.5/0.5	丘陵带山脊、谷底带、平原带	
054.01.01	海桐	日本·海桐	24.6 3.1	16.9	雨	80	7.0/7.8/1	灰绿	0.5/0.5/0.5	丘陵带山脊、谷底带、平原带	

出土瓦観察表

石器内の数値は件数を示す

発見 場所	出土品種名	種別	形状(cm)			開口	沿土	表面質感	内部構造	調査	備考
			長さ	幅	厚さ						
249	SK103下層	軽瓦瓦	(3.8)	2.3	1.8	復	縦	凸面・底内凹面 底面・内凹面	均S/0	内面:テテ 外面:??	
250	SK103下層	軽瓦瓦	(3.4)	0.11.6	1.9	普通	縦	凸面・底内凹面 底面・内凹面	均S/0	内面:テテ 外面:??	
251	SK103中層	軽瓦瓦	(3.4)	0.11.4	2.1	普通	横	凸面・底内凹面 底面・内凹面	均S/0	内面:テテ 外面:??	瓦面質感強化
252	SK103下層	軽瓦瓦	(3.0)	0.13.2	1.5	普通	縦	凸面・底内凹面 底面・内凹面	均S/0	内面:テテ 外面:??	
253	SK103中層	軽瓦瓦	(3.0)	0.10.6	2.0	普通	縦	凸面・底内凹面 底面・内凹面	均S/0	内面:テテ 外面:??	
254	SK103中層	軽瓦瓦	(3.4)	14.2	2.1	縦	縦	凸面・底内凹面 底面・内凹面	均S/0	内面:テテ 外面:??	
255	SK103	軽瓦瓦	(4.3)	13.6	1.7	縦	平滑	凸面・底内凹面 底面・内凹面	均S/0	内面:テテ 外面:??	
256	SK103下層	軽瓦瓦	(3.5)	28.6	2.0	普通	平滑	凸面・底内凹面 底面・内凹面	均S/0	内面:テテ 外面:??	二重天(下)、縫合
257	SK103	軽瓦瓦	(3.2)	15.6	2.5	普通	普通	凸面・底内凹面 底面・内凹面	均S/0	内面:テテ 外面:??、縫合	三重天(下)、縫合
258	SK103	軽瓦瓦	(3.7)	0.3	2.0	普通	普通	凸面・底内凹面 底面・内凹面	均S/0	内面:テテ 外面:??、縫合	三重天(下)、縫合
259	SK103下層	軽瓦瓦	(3.4)	1.3.4	2.3	普通	普通	凸面・底内凹面 底面・内凹面	均S/0	内面:テテ、工具痕 底面:内凹面	二重天(下)、痕跡
260	SK103	軽瓦瓦	(3.1)	0.1.2	2.1	普通	普通	凸面・底内凹面 底面・内凹面	均S/0	内面:テテ 底面:内凹面	二重天(下)、痕跡
261	SK103下層	軽瓦瓦	(0.1)	0.3.6	1.8	普通	普通	凸面・底内凹面 底面・内凹面	均S/0	内面:テテ 底面:内凹面	二重天(下)、痕跡
262	SK103下層	軽瓦瓦	(0.0)	0.2.0	2.3	普通	普通	凸面・底内凹面 底面・内凹面	均S/0	内面:テテ 底面:内凹面	三重天(下)、痕跡
263	SK103	軽瓦瓦	(0.2)	0.1.1	3.0	普通	普通	凸面・底内凹面 底面・内凹面	均S/0	内面:テテ 底面:内凹面	三重天(下)、痕跡
264	SK103下層	軽瓦瓦	(0.4)	10.6	2.3	普通	普通	凸面・底内凹面 底面・内凹面	均S/0	内面:テテ 底面:内凹面	二重天(下)、痕跡
265	SK103下層	軽瓦瓦	(0.3)	12.8	2.1	普通	普通	凸面・底内凹面 底面・内凹面	均S/0	内面:テテ 底面:内凹面	三重天(下)、痕跡
266	SK103	軽瓦瓦	(2.2)	0.6.7	1.8	普通	普通	凸面・底内凹面 底面・内凹面	均S/0	内面:テテ 底面:内凹面	三重天(下)、痕跡
267	SK103下層	軽瓦瓦	(1.3)	23.9	3.3	普通	普通	凸面・底内凹面 底面・内凹面	均S/0	内面:テテ 底面:内凹面	三重天(下)、痕跡
268	SK103	軽瓦瓦	(2.0)	0.8.8	1.5	普通	普通	凸面・底内凹面 底面・内凹面	均S/0	内面:テテ 底面:内凹面	二重天(下)、痕跡
269	SK103	軽瓦瓦	(0.4)	21.7	2.0	普通	縦	凸面・底内凹面 底面・内凹面	均S/0	内面:テテ 底面:内凹面	二重天(上)、痕跡
270	SK103	軽瓦瓦	(0.4)	22.0	1.8	普通	縦	凸面・底内凹面 底面・内凹面	均S/0	内面:テテ 底面:内凹面	二重天(上)、痕跡
271	SK103下層	軽瓦瓦	(0.5)	0.7.4	1.5	普通	普通	凸面・底内凹面 底面・内凹面	均S/0	内面:テテ 底面:内凹面	二重天(上)、痕跡
272	SK103中層	軽瓦瓦	(0.0)	0.7.2	2.0	普通	普通	凸面・底内凹面 底面・内凹面	均S/0	内面:テテ 底面:内凹面	西漢天
273	SK103下層	軽瓦瓦	(0.1)	13.0	2.2	普通	縦	凸面・底内凹面 底面・内凹面	均S/0	内面:テテ 底面:内凹面	西漢天
274	SK103中層	軽瓦瓦	(0.2)	0.1.4	1.0	普通	普通	凸面・底内凹面 底面・内凹面	均S/0	内面:テテ 底面:内凹面	西漢天(上)、痕跡
275	SK103	丸瓦	(2.0)	15.6	1.7	縦	縦	凸面・底内凹面 底面・内凹面	均S/0	内面:テテ 底面:内凹面	西漢天(上)、痕跡
276	SK103	丸瓦	(0.5)	23.6	3.4	縦	縦	内凹面:内凹 内側:内凹	均S/0	内面:テテ 底面:内凹面	丸瓦
277	SK103	丸瓦	(0.0)	0.4	4.2	普通	普通	内凹面:内凹 内側:内凹	均S/0	内面:テテ 底面:内凹面	丸瓦
278	SK103下層	丸瓦	24.2	0.7.4	3.5	普通	縦	凸面・底内凹面 底面・内凹面	均S/0	内面:テテ 底面:内凹面	丸瓦(丸)
279	SK103中層	丸瓦	22.1	0.11.6	4.3	普通	縦	凸面・底内凹面 底面・内凹面	均S/0	内面:テテ 底面:内凹面	側面斜立丸瓦
280	SK103中層	丸瓦	(2.0)	10.0	5.6	普通	普通	内凹面:内凹 内側:内凹	均S/0	内面:テテ 底面:内凹面	側面斜立丸瓦
281	SK103側面	軽瓦瓦	(0.5)	0.5	2.1	縦	普通	凸面・底内凹面 底面・内凹面	均S/0	内面:テテ 底面:内凹面	側面斜立丸瓦
282	SK103側面	軽瓦瓦	(14.0)	0.7.0	1.6	普通	縦	凸面・底内凹面 底面・内凹面	均S/0	内面:テテ 底面:内凹面	側面斜立丸瓦

出土木製品観察表

番号	遺物名	種別	寸法(cm)			備考
			高さ	幅	厚さ	
V1	SK103	浮置部	口縁、底存高3.2	片面、黒色一歩法、外縁：片面に凸凹で丸く彫刻なし		
V2	SK103下端	深透鏡	口径10.2、幅厚4.3、底厚6.0	片面、黒色一歩法、外縁：黒色に算上色(?)、内色ノズル無		
V3	SK105下端	透鏡形	底存高7.0、底厚6.2	片面、黒色、外縁：黒色に算上色(?)、内色ノズル無		
V4	SK105中端	透鏡形	底存高5.1	片面、黒色、外縁：黒色		
V5	SK102	透鏡形	底存高5.3、底厚6.0	片面、浮置部、黒色		
V6	SK103下端	等	12.5	0.6	0.5	
V7	SK105下端	等	8.45	0.35	0.45	
V8	SK103下端	等	12.7	1.0	1.4	
V9	SK103下端	等	13.7	1.1	0.8	
V10	SK103	等	16.6	2	1.6	
V11	SK105上端	等	15.6	1.1	0.8	
V12	SK103	等	14.1	1.9	1.1	光澤
V13	SK102下端	等	13.9	2	1.2	光澤
V14	SK103下端	透鏡形	8.2	1	0.8	
V15	SK103下端	木製	10.0	1.7	0.35	楕円、片手的次第、「透鏡口」：今口の裏面
V16	SK103	木製	9.1	2	0.3	楕円、「オーバー」(二面削)の裏面
V17	SK103下端	木製	13.8	3.6	0.3	楕円、両端部に斜め有、「口口私御利」(?)、或は通じし者(?)の裏面
V18	SK102下端	木製	13.3	2	0.5	楕円、両端部に斜め有、「口口私御利」(?)一部の裏面
V19	SK101下端	木製	21.95	4.4	0.35	楕円、斜め、斜めカット所終点。前田原九郎標 江戸時代後半の裏面
V20	SK101下端	木製	21.4	9.0	0.3	楕円下斜傾角(?)
V21	SK101中端	木製	15.7	6.1	1.05	楕円下斜傾角(?)
V22	SK101下端	木製	19.5、底存高9.0	楕円、内面に右(?)側の土漆付着(?)、小舟形、舟底(?)等を含む。坂根・轍原に1000円古セーブルの裏面。		
V23	SK101下端	木製	2.8	2.7	4	楕円、「口口私御利」(?)

出土石製品観察表

番号	出土遺構名	種別	寸法(cm)			備考
			高さ	幅	厚さ	
S1	SK103	木板	15.3	13	14	表面無
S2	SK106	透石	7.1	2.2	1.9	4枚山腹持
S3	SK105中端	透石	16.8	3.2	2.4	112.2
S4	SK105下端	透石	9	4.5	3.5	235.6
S5	SK105	透石	3.7	3.1	1	16.4
S6	SK102	等	清底2.2	0.5	4	内側口裏(?)、底付裏
S7	SK105下端	等	9.8	1.9	1.2	120.7
S8	SK101	木板	23.4	13.8	8.4	2350
S9	SK101	木板	19.2	6.4	0.3	33.6
S10	SK101	木板	5.5	3.4	0.3	33.6
S11	SK101	木板	5.4	4.9	0.5	10.2
S12	SK101	木板	8.8	0.6	0.5	7
S13	SK101	木板	3.2	0.6	0.6	2
S14	SK101	木板	2.9	1.8	0.3	1.4
S15	SK101	木板	2.8	0.5	0.3	0.9
S16	SK101	木板	4.2	2.7	2	23.8
S17	SK101	木板	15.5	7.2	3.1	502.9
						墨定標識。缺けた部分

出土金属製品観察表

編 番 号	出 土 遺 跡 名	種 類	寸 法 (mm)			重 量(g)	備 考
			長 さ	幅 さ	厚 さ		
M1	SH106	針	9.9	1.9	1	21.6	
M2	SH106	針	6.7	0.9	0.6	4.7	
M3	SH106	針	7.8	1.7	0.5	20.2	
M4	SH106	針	2.6	1	0.3	3	
M5	SH106	針	4.3	1	0.3	1.7	
M6	SH106下端	針	6.4	0.9	0.3	3.7	
M7	SH106中端	針	6.9	1.3	0.5	8.4	
M8	SH106上端	針	7.3	0.8	0.6	12.6	
M9	SH103	針	3.6	0.9	0.5	1.8	
M10	SH103	針	6.9	1.9	0.5	7.1	
M11	SH103下端	針	3.6	1.3	0.6	8.9	
M12	SH103中端	針	3.3	1	0.6	4.1	
M13	SH103上端	針	13	0.9	0.4	20	
M14	SH103中端	針	3.9	2.0	1.3	6.1	
M15	SH103上端	針	3.4	2.6	0.5	5.3	
M16	SH103中端	針	7.1	6.1	1.1	49.7	
M17	SH103環状	環狀	6.1	0.9	0.6	4	
M18	SH103中端	針?	14.2	2.3	1	32.5	
M19	SH103中端	針?	7.6	7.3	0.6	22.8	
M20	SH103底	針	7.4	0.9	0.4	14.9	
M21	SH105	環狀	6.6	1	1	10	
M22	SH105	環狀	6.8	0.9	0.9	4.2	
M23	SH201	圓盤形	2	3	0.3	23.6	
M24	SH301	金具	5.7	2	0.2	3	
M25	SH301	金具?	2	3.1	0.3	3.3	
M26	SH301	金具?	2	3	0.2	16.6	
M27	SH301	丸子?	7	11.7	0.2	2.2	
M28	SH301	小鏡	2.6	2.5	0.3	3.8	
M29	SH301	古鏡	9.7	2.7	0.4	3.3	
M30	SH301	古鏡	2.4	2.2	0.3	2	
M31	SH401	管	6.9	0.9	0.1	1.6	
M32	SH401	針	4.1	0.5	0.3	1.2	
M33	SH401	針	5.6	0.9	0.8	4.9	
M34	SH401	針	7	0.8	0.3	8.9	
M35	SH401	(穴)環	22.3	0.6	0.6	29.2	

出土骨角製品観察表

編 番 号	出 土 遺 跡 名	種 類	寸 法 (mm)			重 量(g)	備 考
			長 さ	幅 さ	厚 さ		
M1	SH103下端	環狀	4.7	2.5	0.3	2.1	

ガラス製品観察表

記文番号	出 土 遺 跡 名	形 態 名	寸 法 (mm)			色 調	備 考
			長 さ	幅 さ	厚 さ		
G1	SH401	瓶	3.7	26.7	7.3	オーランドブルー	
G2	SH401	ランプ	8	9.95	5.55	半透明色	正面八角形

第5章 丸亀町 A 街区における試掘調査の結果報告について

1. 所在地 高松市丸亀町
2. 調査期間 平成 17 年 4 月 1 日～4 月 15 日
3. 調査担当者 大嶋和則
4. 調査の原因 市街地再開発事業
5. 調査の概要

調査地は高松城の城外であるが、城の大手付近に位置し、域内の近接した地域で弥生～中世の遺構が検出されていることから、事業主体者である高松丸亀町商店街 A 街区市街地再開発組合会と協議を行い、任意協力による試掘調査を実施した。開発範囲のうち、既存の鉄筋建物部分は、搅乱を受けていたため試掘範囲から除外し、木造建物部分のみを調査対象とした。

第 1 トレンチでは、現地表面下 25 ～ 50cm の高松空襲時の焼土層の下層において厚さ 20cm の灰黄褐色粘質シルト層が認められた。その下層において幕末～明治頃と考えられる焼土・瓦を多く含む淡赤橙粘質シルト層が所在し、その下層で灰黄褐色粘質シルトの整地土層が認められた。整地土層中から遺物が出土しており、1 は土師器の皿、2・3 は肥前系陶器の皿で、いずれも江戸時代のものである。なお、トレンチ断面での確認にとどまったが、整地土層から土坑が掘り込まれていた。整地土層以下は、暗青灰色砂混粘土層が薄く堆積しており、その下層で地山の灰黄色細砂層となっている。

第 2 トレンチでは、高松空襲時の焼土層直下で、第 1 トレンチと同じ整地土層を検出した。4 は京・信楽系陶器の皿、5 は瀬戸・美濃系磁器の碗であり、これにより、19 世紀の整地土層と考えられる。整地土層以下は暗青灰色砂混粘土層、青灰色粗砂層、暗オーリーブ灰色砂混粘土層が堆積していた。遺物の出土ではなく、時期不明であるが、これらの堆積層は東北から南西方向に深くなっていることから、旧河道の可能性が考えられる。

第 3 トレンチでは、第 2 トレンチ同様、高松空襲時の焼土層直下で整地土層を検出した。遺物は整地土層直上から出土した 6 の瀬戸・美濃系陶器の蓋だけである。整地土層以下には、黄灰色粘土層、灰色細砂層、暗青灰色砂混粘土層が所在し、湿地状の地形が想定される。

第 4 トレンチでは、高松空襲時の焼土層直下で地山の灰黄色細砂層が認められ、土坑 1 基を検出した。土坑中からは遺物が多く出土した。7 は産地不明陶器の鉢、8 は京・信楽系陶器の皿、9 は京・信楽系陶器の急須、10 は肥前系磁器の小杯である。出土遺物から 19 世紀の遺構と考えられる。

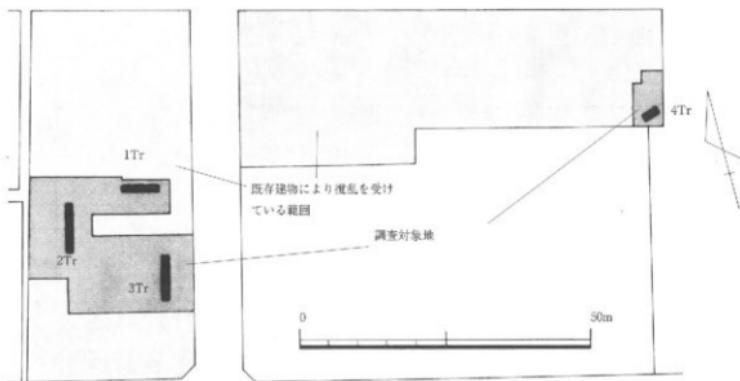


第 87 図 丸亀町 A 街区調査位置図 (1/25,000)

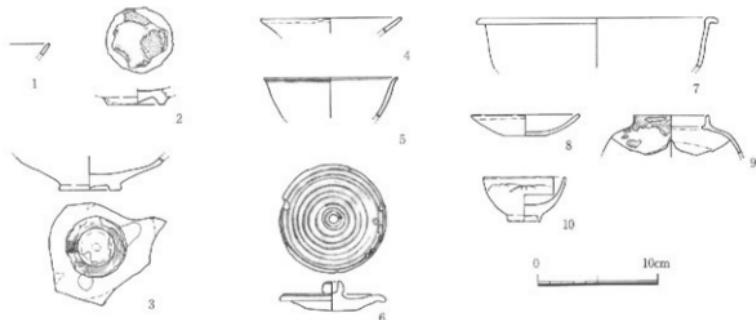
6. まとめ

今回の調査において、第 3 トレンチから第 2 トレンチにかけて湿地や旧河道と考えられる堆積層が認められた。その落ち込み状況から、南東（第 3 トレンチ南方）から北西（第 2 トレンチ）方向に流れる旧河道の存在が推定できる。また、第 4 トレンチ付近は、地山のレベルが高いことから、微高地であったと考えられる。旧河道埋土からの出土遺物がなく、時期不明であるが、周辺は高松城の大手にあたることから、16 世紀末以前の地形であることが予想され、高松城下の旧地形の一端を知る手がかりとなる調査であった。

なお、試掘調査の結果、搅乱が著しく、近世の遺構しか確認されなかったため、今回の調査対象地は保護措置の必要がないものと判断した。



	1Tr	2Tr	3Tr	4Tr
1				
2	コンクリート			
3				
4	10YR6/2 灰黄褐色 粘質シルト 2.5YR7/4 淡赤棕 5 黏質シルト	1 花崗土 3 2.5Y5/6 明黄褐色 砂泥粘土 (流土含む)	1 3 6 7 2.5Y4/1 灰灰 粘土 8 9 13	3 13
6		6 10YR5/2 灰黄褐色 粘質シルト 10 11 12 2.5GY4/1 墨オリーブ灰 砂泥粘土 13		
9			8 5Y6/1 灰 繊維 9 5BG4/1 墨青灰 砂泥粘土 10 10BG3/1 墨青灰 砂泥粘土 11 5BG5/1 青灰 糙砂 13 2.5Y7/2 灰黄 繩砂	
13				
0 1m	0 1m	0 1m	0 1m	0 1m



第 88 図 調査地位置図及び土層柱状図及び出土遺物実測図



SX103 (南方向から)



SX103 完掘時（北方向から）



SX103 完掘時（南方向から）



SX103 踊場礫敷
(東方向から)



SX103 踊場石列
(北方向から)



SX103 刻印石



SX103 石材 G1 類



G1 類拡大



SX103 石材 G1' 類



G1' 類拡大



SX103 石材 G2 類



G2 類拡大



SX103 石材 D 類



D 類拡大



調査地西壁（NS1）土層



調査地西端部焼土



SK104 検出状況



SK116 断面



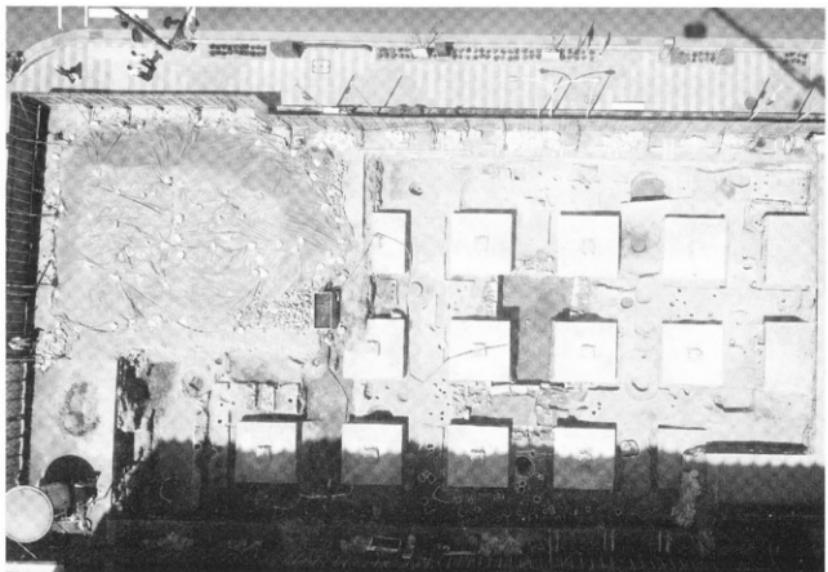
SX103 埋土上層部



調査地北東部
(EW4 西半) 土層



調査地全景（西方向から）



第1 遺構面（南方向から）



SX103 完掘時
(南方向から)



SX103 完掘時
(南東方向から)



SX103 完掘時
(北方向から)



SX103 東壁



SX103 西壁



SX103 北壁

圖

版

10



SX103 踏場石列



SX103 石積（南西隅）



SX103 踏場西壁裏込



SX103 踊場（東方向から）



SX103 踊場礎數
(東方向から)



SX103 踊場礎數
(北西方向から)



SX103 踏場瓦出土狀況



SX103 踏場瓦出土狀況



SX103 踏場木製品出土狀況



SX103 北壁裏土



SX103 北壁裏土



SX103 西壁裏土



SX103 西壁根石下確認狀況



SX103 東壁裏土



SX103 東壁根石下確認狀況



SX103 南西隅根石下確認狀況



SX103 踏場西壁裏土斷面



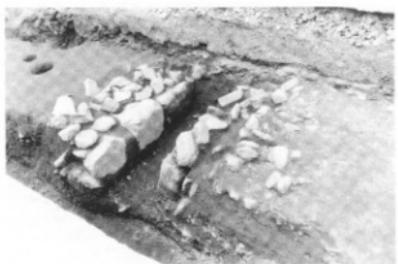
SD101 南部
(北方向から)



SD101 北部
(南方向から)



SD102 (北方向から)



SD101 南部



SD101 北部



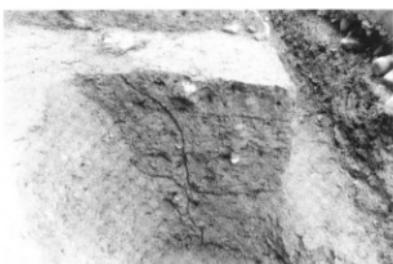
SD101 北部断面



SP102



SE101



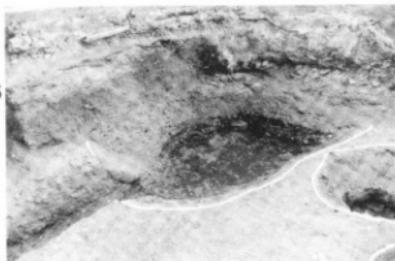
SE101 断面



SE001



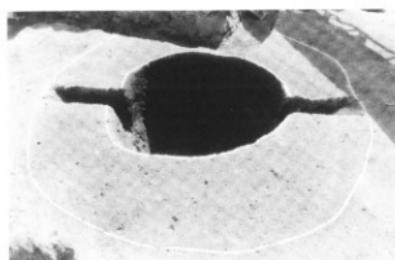
SK003 断面



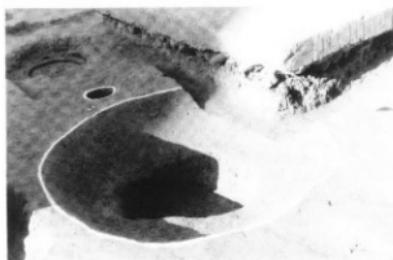
SX102



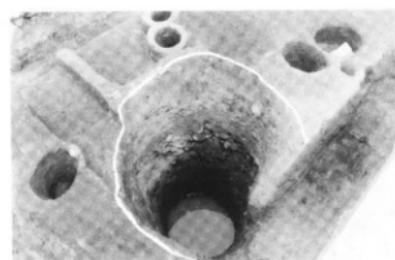
SE107



SE105



SE105 完掘



SE102



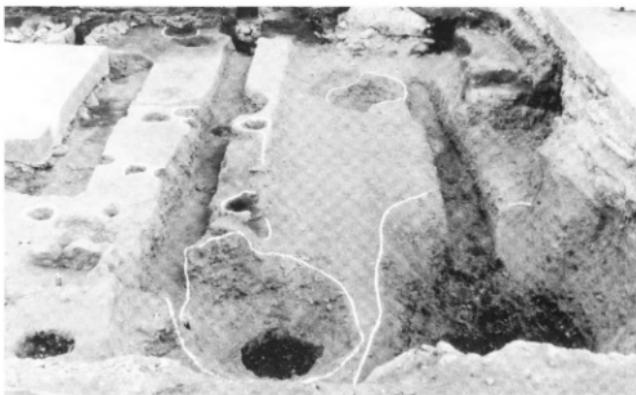
SE104



SE104 · SX105 断面



SE104 · SX105



調査地西端部遺構
(北方向から)



調査地東端部遺構
(東方向から)



調査地北東隅遺構
(東方向から)



SX107 (東方向から)



SX107 (西方向から)



SX107 北壁



SE106・SD107
(南方向から)



SE106
(南方向から)



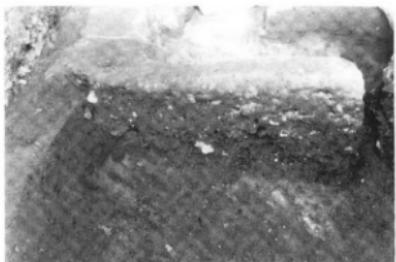
SE106 埋土断面



SE106 掘方断面



SX104



SX104 断面



SX104 瓦出土状況



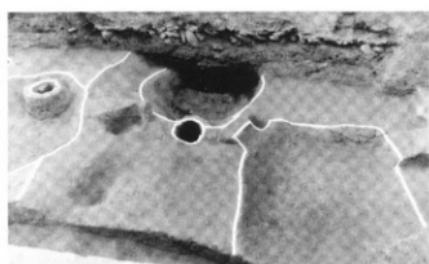
C12・D12 地点第1面上層遺構



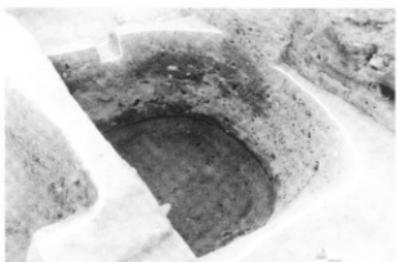
SA102（西方向から）



調査地北端部遺構検出状況



SK124・125



SE103



SE103 斷面



SD105



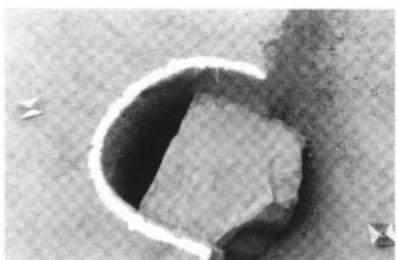
SD105 斷面



SK126



SK126 斷面



SP175



SP025



SX108



SX108 断面



SX101 南北方向断面



SX101 石材出土状況



SX101 (北方向から)



SR201 西岸部遺物出土狀況



SR201 遺物出土狀況



SR201



SR201 土層堆積狀況



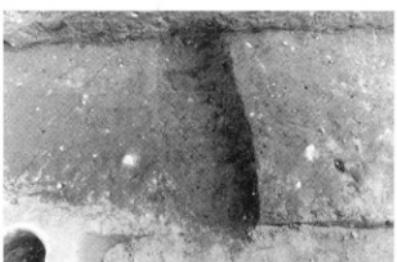
SK201



SK202



SP220 · 224



SD202



SX103 出土磁器碗類



SX103 出土磁器皿類



SX103 出土磁器碗類



SX103 出土磁器類



SX103 出土陶器皿類



SX103 出土陶器碗類



SX103 出土陶器類



SX103 出土陶器類



SX103 出土土師質土器皿



SX103 出土鹽壺



SX103 出土遗物



SX104 出土鹽壺



SX104 出土磁器類



SX104 出土陶器類



SE103 出土遺物



SK124 出土遺物



SX102 出土遺物



SX105 出土遺物



SX106 出土遺物



SX103 出土土師質土器Ⅲ



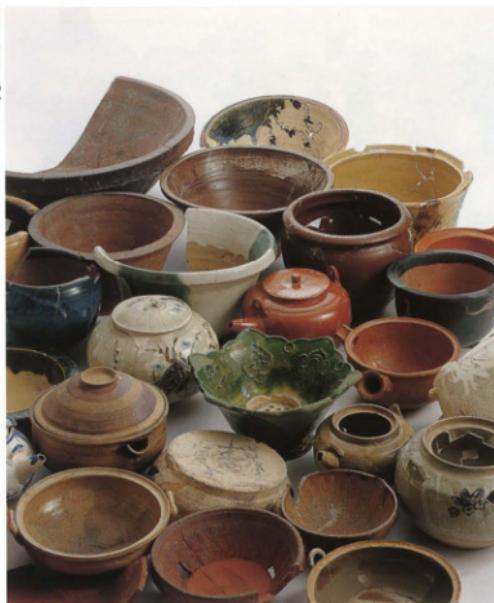
SX101 出土玩具類



SX101 出土磁器類



SX101 出土陶器類



SX101 出土陶器類



SX101 出土土師質土器類



出土遺物



SD105 出土遺物



SE106 出土遺物



SE103 出土遺物



SE107 出土遺物



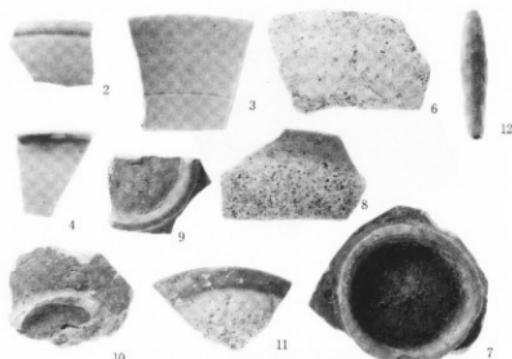
SX104 出土遺物



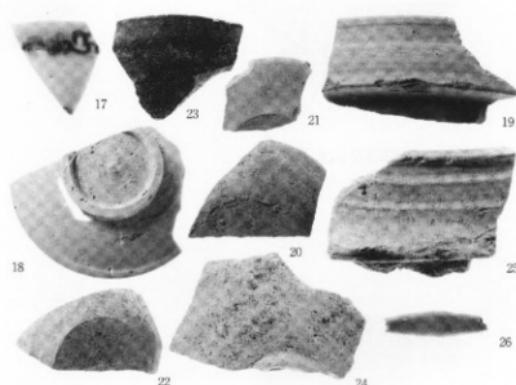
SK112 出土遺物



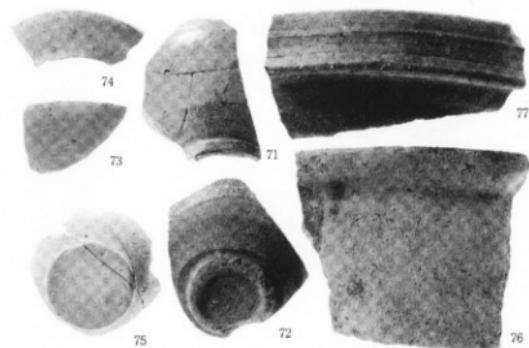
出土遺物



SR201 出土遺物



砂堆上面出土遺物



SK124・125 檢出時出土遺物